

味の新鮮蔵

取扱説明書／組立・設置説明書

ARS-6000SK ARS-6000TK

ARS-6000SKは100V仕様、ARS-6000TKは三相200V仕様です。
本文中では100V仕様と三相200V仕様の共通内容についてはARS-6000と省略してあ
らわしています。

もくじ

取り扱いの説明

安全のために必ずお守りください	1~2
各部のなまえとはたらき	3~4
ご使用方法	
貯蔵するときのご注意	5
精米をするときのご注意	6
運転する前に知っておいていただきたいこと	6
霜取りについて	7
結露について	7
玄米袋について	8
玄米袋の積み込みかた	8
その他のご注意	9
運転のしかた	10
点検とお手入れのしかた	11
こんな表示がでたときは	12
修理を依頼されるまえに	13

組立・設置の説明

組立・設置方法	
安全上のご注意	14
設置作業をされる方へのお願い	15
設置スペースおよび設置時のご注意	15
組立・設置に必要な主な工具	15
付属品の確認	16~17
製造No.の記入について	18
六角ボルトの締め付けについて	18
三相200V仕様の電源プラグについて	18
本体を構成するパネル	18
組立	19~32
試運転	33
仕様	34
主要寸法図	34
アフターサービスと保証について	裏表紙


このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書／組立・設置説明書をよくお読みのうえ、正しく
お使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。


保証書別添付



安全のために必ずお守りください


ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要事項を警告・注意に分けて示します。必ずお守りください。

 **警告** 取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性があります。

 **注意** 取り扱いを誤ると、障害または物的損害などが発生する可能性があります。

お守りいただく内容を次の絵表示で区別し説明しています。

 してはいいないこと(禁止)を示します。

 必ずすること(強制)を示します。

警告



必ず実施

- 定格15A以上の安全ブレーカー、コンセントを単独で使用する。
感電・火災の原因になります。
- 漏電遮断機を必ず取り付け。
(定格電流 15A
定格感度電流 30mA)
感電・火災の原因になります。
- 製品の運転・停止は専用回路の安全ブレーカー(配電盤のブレーカーなど)でおこなう。
感電・ショートの原因になります。
- 延長コードを使用するときは、太さ2mm²以上、長さ10m以下にする。
発熱による火災の原因になります。
電圧降下により、正常に作動しない原因になります。
- 電源プラグはホコリが付着していないか定期的に確認し、刃の根元まで確実に差し込む。(電源コードを下向きにする。)
感電・ショートによる火災の原因になります。
1カ月に一度電源プラグを抜き刃部のホコリを取り除いてください。
- 設置は、必ずお買い上げの販売店に依頼する。
ご自分で設置されますと、感電・転倒事故・火災・水もれの原因になります。



アース線接続

- アースを確実に取り付け。
不完全なアースは、感電・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

- 製品に直接水をかけたり、雨水をあてない。(屋外や湿気の多い場所・水のかかる場所で使用しない。)
感電・ショート・漏電・故障・サビの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。
感電の原因になります。



禁止

- 電源コードや電源プラグは傷んだまま使わない。
感電・ショートによる火災の原因になります。
1カ月に一度電源コードや電源プラグがネズミなどにかじられるなどして、傷んでいないか確認してください。
- 電源はタコ足配線にしない。
発熱による火災の原因になります。
- 電源コードを持って電源プラグを抜かない。(必ず電源プラグを持つ。)
電源コードが傷み、感電・ショートによる火災の原因になります。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っばったり、重いものをのせたり、加工したり、足に引っ掛かるような状態にしない。
電源コードが傷み、感電・ショートによる火災の原因になります。
- 可燃性ガスのもれるおそれのある場所に設置しない。
爆発・火災・発火・発煙の原因になります。
- 揮発性・引火性のある薬品は庫内へ入れない。(シンナー・ベンジン・LPガスなど)
爆発・火災・発火・発煙の原因になります。
- 可燃性スプレーやシンナーなど可燃物を製品の近くで使用しない。
爆発・火災・発火・発煙の原因になります。
- お客様ご自身で分解したり修理・改造は絶対しない。
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。
修理はお買い上げの販売店または裏表紙に記載されているお客様相談窓口にご相談ください。



分解禁止

警告



必ず実施

- 扉は常に施錠する。
子供が中に入り閉じ込められると、酸欠により死亡するなど事故の原因になります。
- 移設は専門業者か販売店に相談する。
設置不備があると感電・火災・水もれなどの原因になります。
- この製品を廃棄するときは、専門業者に依頼する。
放置しますと子供が中に閉じ込められるなど事故の原因になります。
また、不法投棄は法律により罰せられます。



禁止

- 扉を閉じて作業しない。
酸欠により死亡するなど事故の原因になります。
- 子供を近くで遊ばせない。
- 上にのったり、扉にぶらさがらない。
転落や製品転倒などによるケガの原因になります。
- 上に物(特に重量物)を置かない。
置いた物が落下してケガをしたり、重量物で製品が変形する原因になります。
- 凝縮器フィン・排熱口などから針金、ピンなどの異物を入れない。
感電・ケガ・故障の原因になります。

注意



必ず実施

- 扉の開閉は他の人がさわっていないことを確認し、取っ手を持っておこなう。
手や指をはさみ、ケガの原因になることがあります。
- 床面が丈夫で平らな場所に水平になるように設置する。
設置に不備があると転倒によるケガ・水もれ・冷気もれなどの原因になることがあります。
- ドレンホースを確実に取り付ける。
水もれにより玄米を湿らせたり、感電やショートの原因になることがあります。



禁止

- 凝縮器フィン・排熱口をふさがない。
吸排気が妨げられ冷却能力が低下して庫内が冷えなくなったり、故障の原因になることがあります。
- 冷気吹き出し口・戻り口に手を入れない。
ファンや冷却器フィンでケガの原因になることがあります。
- 扉を下から持ち上げない。
扉がはずれてケガをするおそれがあります。
- 床がぬれてはいけない場所には設置しない。
湿度の高いときには製品の外側や扉回りに結露した露が滴下し床面をぬらす原因になることがあります。



接触禁止

- 掃除をするときなど凝縮器フィンを直接手でさわらない。
ケガの原因になることがあります。



電源プラグを抜く

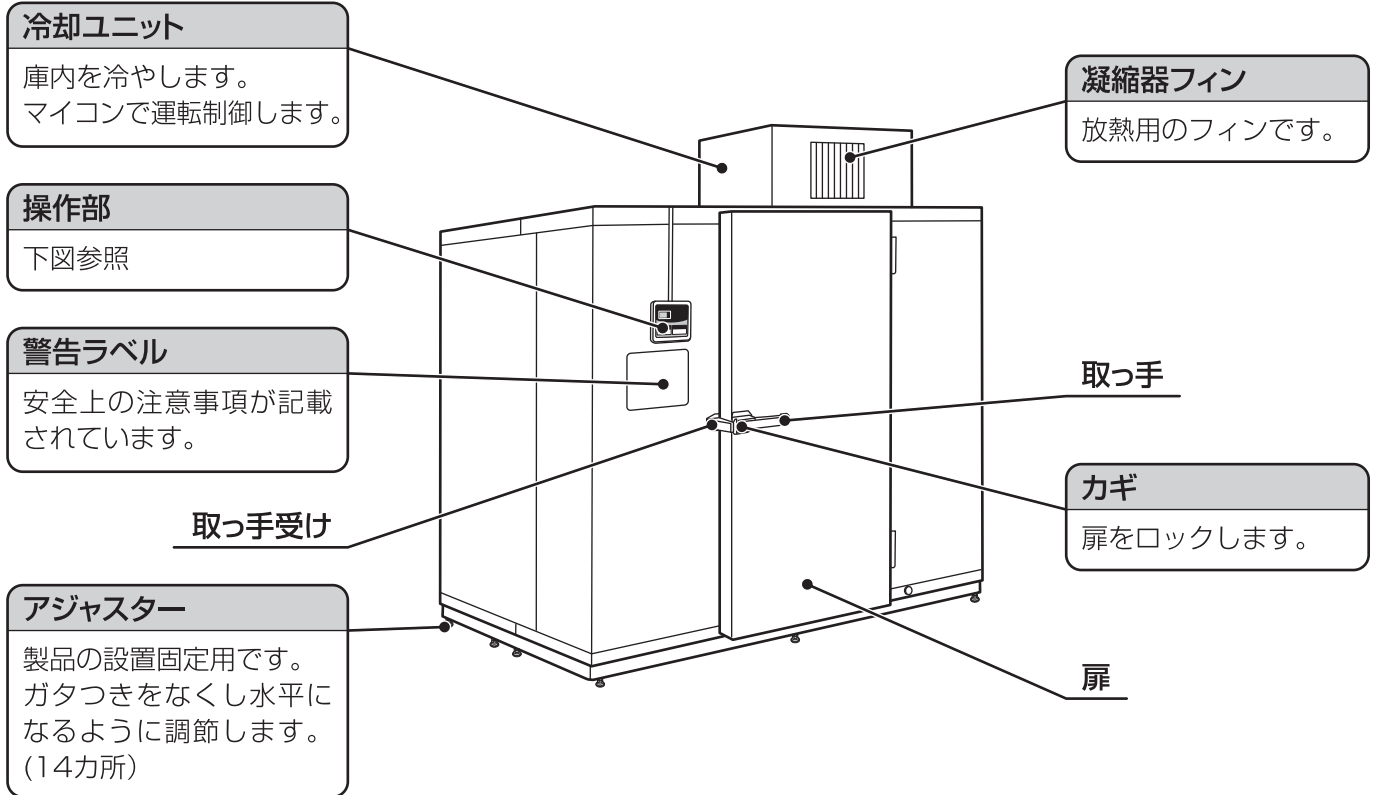
- お手入れするときは、専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜く。
感電の原因になることがあります。
- 長期間使用しないときは、必ず専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜く。
電源プラグにホコリがたまって発火・発熱の原因になることがあります。
- 異常時は、直ちに専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜く。
異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になることがあります。

フロン排出抑制法 第一種特定製品

この製品には冷媒として、R134a(GWP値：1430)が使われています。

- (1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- (2) この製品を廃棄・整備するときは、フロン類の回収が必要となります。
- (3) フロン類の種類および数量は、冷却ユニットに貼付のラベルに記載されています。

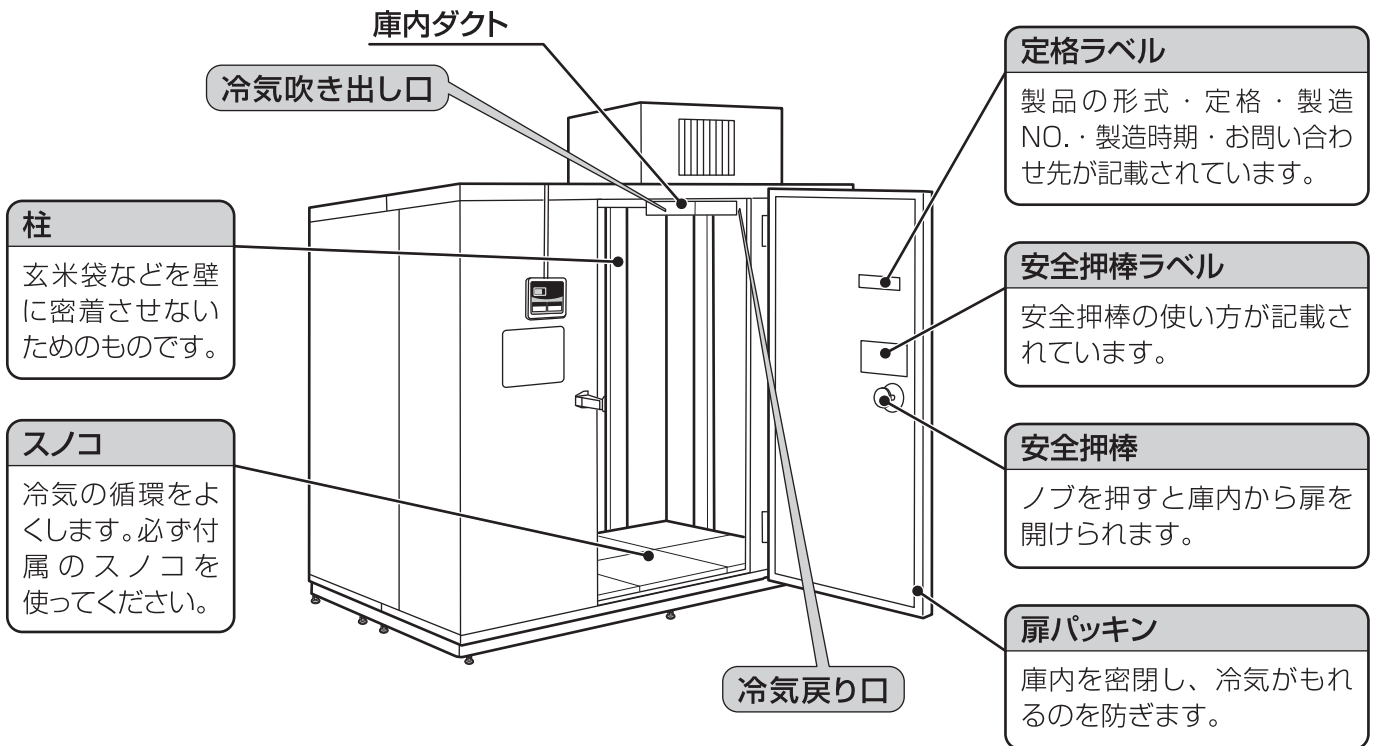
各部のなまえとはたらき



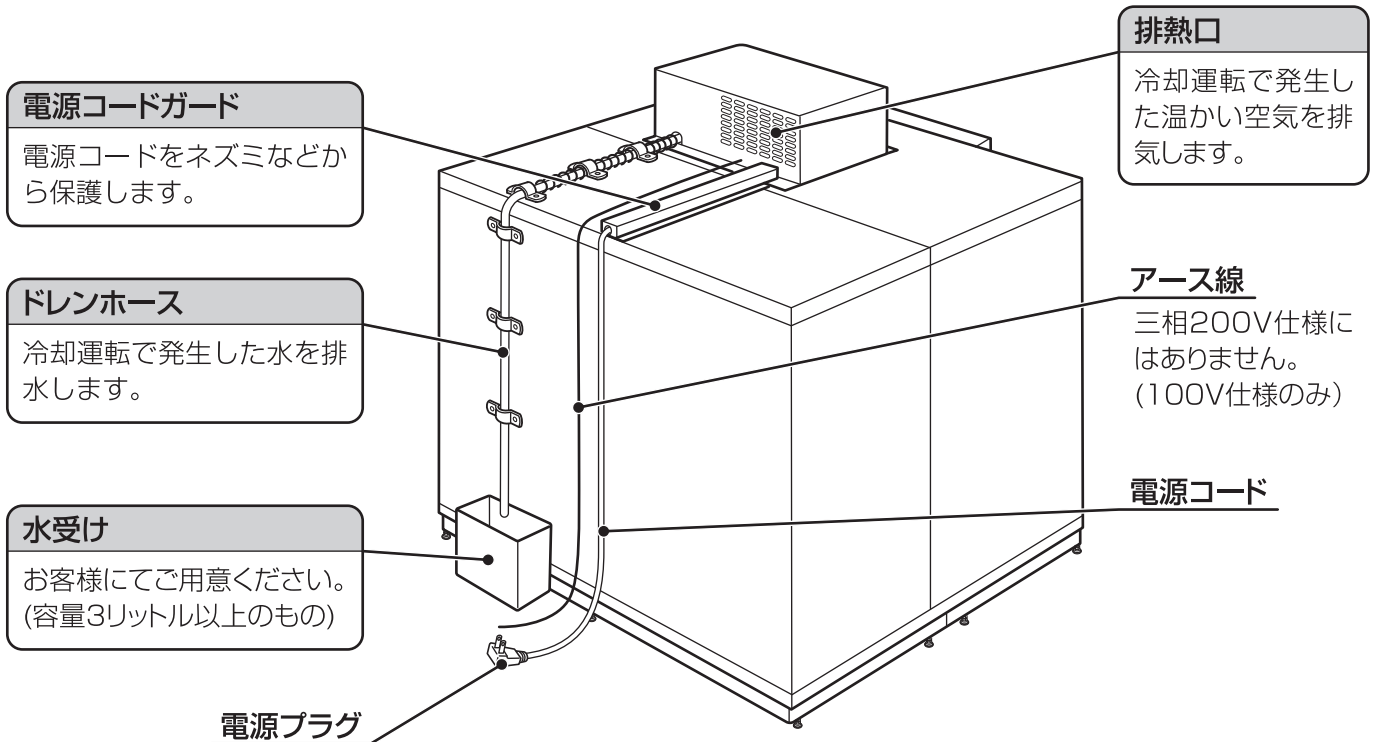
操 作 部



庫内



背面



ご使用方法

貯蔵するときのご注意

- この貯蔵庫は「玄米の貯蔵に適した環境(温度・湿度)を保つためのもの」であり、「お米の鮮度をよくするもの」、「おいしくするもの」ではありません。本書のご使用方法にしたがって正しく使用し、適切な管理を心がけてください。

玄米を貯蔵するときのご注意

<ul style="list-style-type: none">●玄米は水分を15.5%以下に乾燥してから貯蔵する。 水分が高いとカビが発生したり、固まったりして、品質が低下することがあります。	<ul style="list-style-type: none">●玄米と野菜・果物を一緒に入れない。 庫内湿度が高くなり、玄米の品質が低下したり、カビが発生する原因になります。
<ul style="list-style-type: none">●玄米は新しい紙袋を使って貯蔵する。 古い紙袋を使うとカビや害虫が発生することがあります。また、袋に入れないで貯蔵すると乾燥してしまいます。	<ul style="list-style-type: none">●積み込み高さを守る。 庫内に表示している積み込み制限ラベルのラインを超えて積み込むと、冷気が循環できなくなり、冷えない場所ができてしまいます。特に冷気吹き出し口をふさがないように注意してください。
<ul style="list-style-type: none">●害虫にご注意 この貯蔵庫は害虫の繁殖をおさえることはできませんが、貯蔵する前に発生していた害虫への殺虫能力はありません。	<ul style="list-style-type: none">●扉はしっかり閉める。 扉が開いていると、庫内が冷えないだけでなく、外気の湿気が入り込み、結露が多く発生し、貯蔵物を湿らせてしまいます。
<ul style="list-style-type: none">●扉の開閉は少なく、短くする。 玄米は湿気をきらいます。特に梅雨の時期や夏場は扉の開閉により多量の湿気が入り込みますので、開閉はできるだけ少なく、開けている時間は短くしてください。 扉の開閉頻度が多いときは、扉の内側・庫内天井面が結露し、滴下することがありますのでタオルなどで拭き取ってください。	<p>重要</p> <ul style="list-style-type: none">●扉を閉めるときは本体とすき間ができないように静かに確実に閉めてください。

その他のご注意

<ul style="list-style-type: none">●酢・酢酸・イースト菌などを含んだ食品はラップなどで包むか、密閉容器に入れる。 酢・酢酸を含んだ食品や酸性物質を分泌させるイースト菌などを含んだ食品は、庫内用品のサビ・腐食や冷却ユニットの故障の原因になりますので、ラップで完全に包むか密閉容器に入れて貯蔵してください。	<ul style="list-style-type: none">●熱い物は冷ましてから入れる。 庫内の温度が上がり、電気代のムダになります。炊すり直後の玄米は熱を持っていますので、冷ましてから貯蔵してください。
<ul style="list-style-type: none">●貯蔵物はすき間を開ける。 つめすぎると冷えにくくなり、温度ムラが発生する原因になりますので、すき間を開けて貯蔵してください。	

精米をするときのご注意

●玄米の急激な温度変化は避ける。

冷えた玄米を外気にさらすと結露をおこすことがあります。この状態のまますぐに精米をおこなうと玄米が胴割れしたり、循環式精米機の内部が結露するなどして安定した精米ができないことがあります。特に初夏から夏にかけては、玄米の袋が湿ることがありますので、涼しい早朝や夕方に取り出し、24時間以上（開封しない状態で）外気になじませてから精米してください。また、できるだけ涼しい時間帯に精米してください。

保冷していた玄米を常温に戻して精米をおこなっても食味に影響はありません。

運転する前に知っておいていただきたいこと

運転をするとき

- 専用回路の安全ブレーカーが「OFF」になっていることを確認してから、コンセントに電源プラグを差し込み、安全ブレーカーを「ON」にします。

運転を停止するとき

- 専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜いてください。
- ※運転が停止する前の設定温度を記憶していますので、再び電源プラグを差し込んでから安全ブレーカーを「ON」にすると、停止する前の設定温度で運転します。

設定温度の変更について

- 設定温度は運転中でも8℃～18℃の間で1℃ずつ自由に変えることができます。

湿度について

- 庫内の湿度は扉の開閉頻度や周囲温度・湿度によって変わります。

運転がはじまると

- 設定温度になるよう自動的に冷却運転をおこないません。(表示部は現在の庫内温度が表示されます。)
- 周囲温度35℃で玄米を規定量入れて運転すると、庫内温度は約6時間で13℃まで下がります。袋の中心部が13℃まで下がるには約4～6日かかります。

停電したときは

- 扉の開閉や貯蔵物の追加をひかえてください。停電が回復すればそれまで運転していた設定温度で自動的に運転を再開します。

温度表示について

- 庫内温度表示部には現在の庫内温度が表示されます。
冬期など周囲温度が設定温度より低いときは、庫内の温度は周囲温度と同じ温度になりますが、異常ではありません。
※霜取り中は「df」を表示します。
※異常時にはお知らせします。(P.12をご覧ください。)

玄米の貯蔵について

- 玄米を貯蔵するときは、玄米の貯蔵に最適な温度[13℃]に設定してお使いください。
※最適な温度[13℃]とは、玄米の酸化、カビや害虫の繁殖をおさえ、電気代を考慮した温度です。

扉について

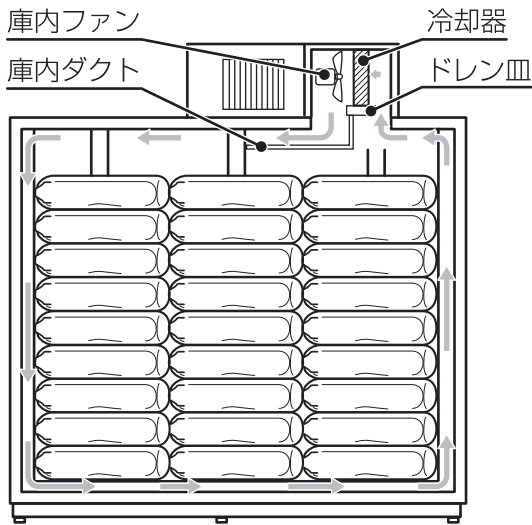
- 扉を開いたとき、開いた角度が約120°～150°までは扉の自重で閉まります。それ以上に開いたときはその状態を保持します。

雷が鳴りだしたら

- 落雷のおそれのあるときは、製品保護のため専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜いてください。

ご使用方法

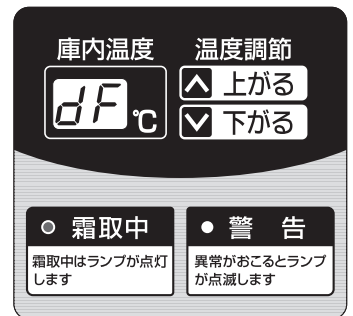
霜取りについて



→ 冷気の流れ

- 冷却器の霜取りは約3時間ごとに自動的におこなわれます。このとき操作部は霜取中ランプが点灯し、庫内温度表示部は **dF** と表示しています。

操作部

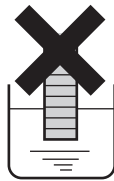


- 霜取り中は扉の開閉をおこなわないでください。
- 霜取りがおこなわれると冷却器に付いた霜が水滴となってドレン皿にたまり、その後ドレンホースから排出されます。
- 霜取りが終わると通常運転になります。

- 霜取りの途中で運転を停止しないでください。冷却器に霜が残ってしまい、次にお使いのとき冷えなかったり、ドレンパイプ部から水が出る原因になることがあります。

ドレンホースに関する注意事項

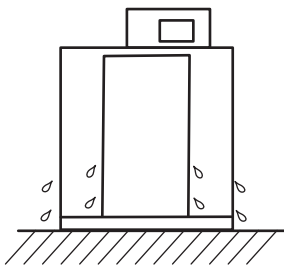
- ドレンホースが確実に取り付けられているか、先が曲がっていたり水受けにたまった水の中に入っていないか確認してください。



- ペットボトルや一升ビンなどの口の小さなものは、水受けとして使用しないでください。
- 水受けにたまった水は、いっぱいになる前に捨ててください。



結露について



- 温度・湿度が高いとき(特に梅雨の時期や夏期)、風通しの悪い場所では製品の外側や扉回りが結露することがあります。これは自然現象であり、故障ではありません。このようなときは、タオルで拭き取ってください。結露が激しいときは、風通しをよくしたり、換気装置を設けてください。

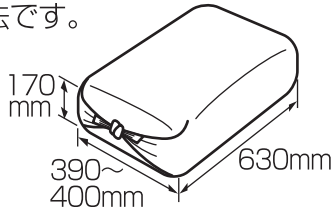
次のことは故障ではありません

- 冷却運転が始まると冷却ユニットから水の流れるような音がすることがありますが、冷媒が流れているため故障ではありません。
- 庫内温度が設定温度よりも低く、冷却運転をしないときに庫内ファンが回ることがありますが、これは庫内の温度を均一にするための制御で故障ではありません。
- 設定を変えた後、すぐに冷却運転を開始しないことがありますが、これは冷却ユニットを保護するための制御で故障ではありません。約3分後に運転を開始します。
- 扉の開閉によって、一時的に庫内温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

玄米袋について

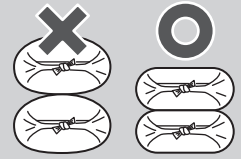
●玄米袋の基準寸法について

玄米30kg入紙袋の寸法は、下図の通り「幅390～400×長さ630×高さ170mm」に設定しています。
※玄米を30kg入れたときの寸法です。

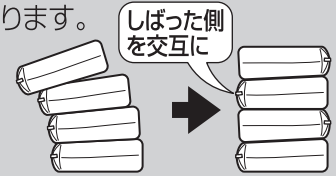


重要

●玄米袋はできるだけ平らになるようにし、基準寸法になるように形を整えながら積み込んでください。
基準寸法を超え、丸く膨らんだ形で積み込むと不安定になり袋が崩れたり、規定の収納量まで積み込めないことがあります。

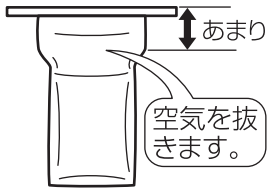


●玄米袋が崩れやすいときは、しばった側を交互に積み込むと崩れにくくなります。



玄米袋の形の整え方

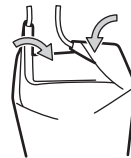
①玄米袋を立てて置き、空気を抜きます。



②あまった部分を内側に向かってしっかりと3回折り曲げます。



③両端を内側に折り込みます。



④口ひもを2回からませ、しばります。



⑤玄米袋を横に倒し、平らに形を整えます。



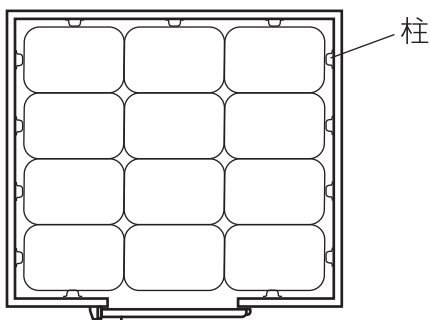
玄米袋の積み込みかた

	30kg紙袋 収納量	積み込みかた
ARS-6000	108袋	12列・9段

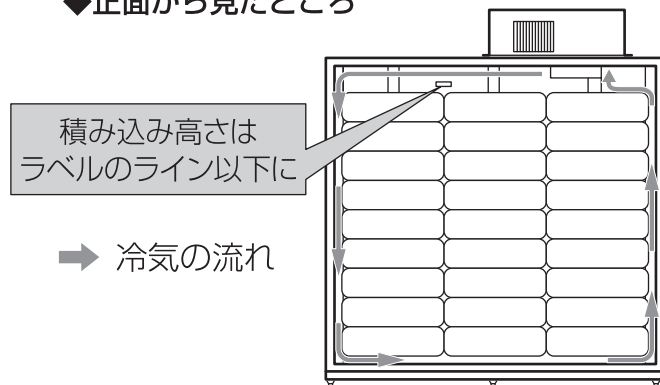
重要

●冷気が充分循環するように、必ず付属のスノコを使用し、積み込み制限ラベルのライン以下で、扉から5cm以上すき間をあけて積んでください。

◆上から見たところ



◆正面から見たところ

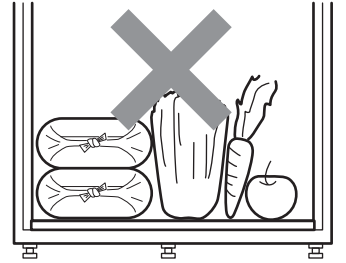


ご使用方法

その他のご注意

野菜・果物などの一時保冷・予冷について

- この製品は、野菜・果物などの一時保冷ができますが、野菜・果物の種類により、適した保冷期間・温度・湿度が異なりますので充分注意してください。
- 野菜・果物などの一時保冷のとき、ドレン水が大量に出ることがあります。
- 野菜・果物の貯蔵はポリエチレンシートやポリ袋で包装してください。水分を多く含んだ農産物をそのままの状態（場合によっては霧吹きをしながら）貯蔵したり、乾燥させながら保冷する目的でお使いになると短時間で庫内湿度が高くなり、冷却器に霜が付いて冷却できない原因になります。
- 貯蔵物を入れるときは、庫内が冷えてから入れてください。貯蔵物を入れてから電源を入れると庫内が冷えるまで時間がかかります。



この製品は野菜・果物などの予冷には適しておりません。

重要

- 玄米と野菜・果物などを一緒に入れないでください。玄米にカビが発生するおそれがあります。
- 野菜・果物は必ずポリエチレンシートやポリ袋で包装して貯蔵してください。そのまま貯蔵すると乾燥したり、しおれの原因になります。

- 保冷とは、玄米・野菜・果物などの温度が上がらないように低温に維持することをいいます。
- 予冷とは収穫後の野菜・果物を輸送や貯蔵の前に急速に冷却し、品温を下げることをいいます。

加温について

- この製品は加温することはできません。冬期など周囲温度が設定温度より低いときは、庫内の温度は周囲温度と同じ温度になります。周囲温度が設定温度より高くなると自動的に冷却運転がはじまります。

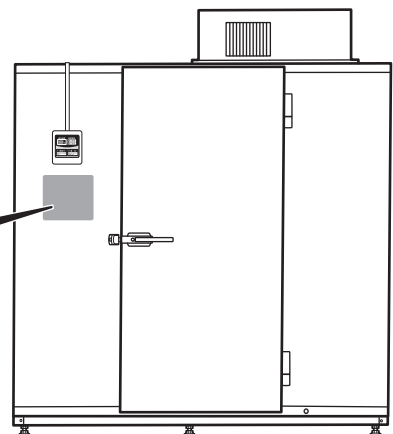
キーの保管について

- キーが2個付属されています。1個は予備としてなくさないように大切に保管してください。キーを紛失したときは、お買い上げの販売店または裏表紙にあるお客様相談窓口にご相談ください。

警告ラベルについて

- 警告ラベルは特に重要と考えられる事項について記載しています。必ずお読みのうえ正しくお使いください。
- 警告ラベルが汚れたり、はがれたときはお買い上げの販売店へ注文してください。

警告ラベルの貼付位置
 ※イラストは扉が右開きの場合です。
警告ラベル



運転のしかた

- 1 専用回路の安全ブレーカーが「OFF」になっていることを確認します。
- 2 コンセントに電源プラグを確実に差し込みます。
- 3 安全ブレーカーを「ON」にします。
安全ブレーカーを「ON」にすると、庫内温度表示部に設定温度が10秒間点滅します。

はじめて電源を入れたとき

- 庫内温度表示部に「13」が点滅します。

10秒後
自動的に運転が始まります。

- 庫内温度表示部には現在の庫内温度が表示され、徐々に13℃に向かいます。
※冬期など周囲温度が13℃より低いときは、冷却運転をおこないません。



設定温度を変えたいとき

1 温度調節キーを押します。

- 庫内温度表示部には現在の設定温度が点滅表示します。
※このとき運転は続けています。

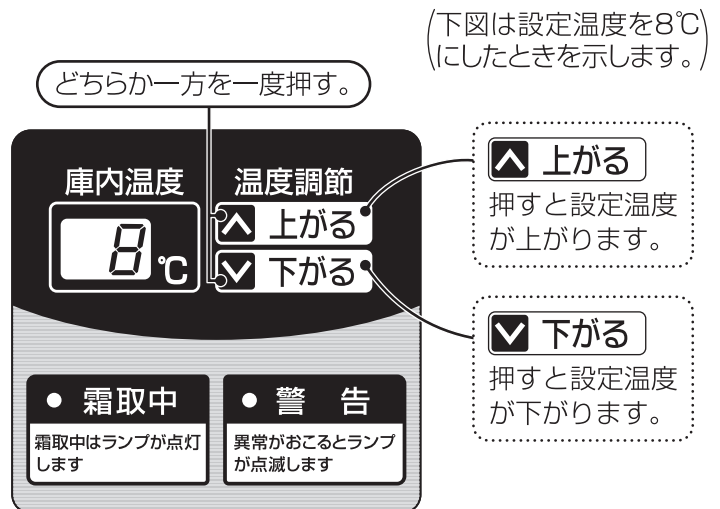
点滅中に(5秒以内に) 2へ

2 温度を設定します。

8～18℃の範囲で設定してください。

最後の設定が終わって5秒後
自動的に新しい設定温度での運転が始まります。

- 徐々に設定温度に向かいます。
※庫内温度が設定温度より低いときは、冷却運転をおこないません。
庫内温度表示部には設定温度より低い温度を表示します。



庫内湿度の目安

- 玄米の貯蔵に適した湿度約60～70%で運転しますが、参考値です。
扉の開閉頻度や周囲の温度・湿度によって変わります。

点検とお手入れのしかた

点検について



- 次の項目は特に重要ですので日常のお手入れのほかに定期的な点検してください。

点検箇所	点検内容	処 置
ドレンホース	● ドレンホースの先端が水受けの水の中に入っていないか。	● 水受けの水をすてる。
	● 取り付け部などに水もれがないか。	● 水もれしているときはお買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡する。
	● ゴミがつまっていないか。	● ゴミを取り除く。
電源プラグ	● 接続部が抜けかかっているか。	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込む。
	● 刃部にホコリが付着していないか。	● 刃部のホコリを取り除く。
電源コード	● 傷んでいないか。	● 傷んでいるときはお買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡する。

詳しくは [P.1~2 安全のために必ずお守りください] [P.13 修理を依頼されるまえに] に記載されていますので、よくお読みください。

原因がわからないときや処置が難しいときは、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。

お手入れについて

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品に直接水をかけて洗わない。感電・ショート・漏電・故障・サビの原因になります。 ● お客様で自身で分解したり修理・改造は絶対しない。異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電・火災の原因になります。修理はお買い上げの販売店または裏表紙に記載されているお客様相談窓口にご相談ください。 	 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れするときは、専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にしてから電源プラグを抜く。 ● 凝縮器フィンを直接手でさわらない。ケガの原因になることがあります。
--	--	--	---

本体・扉・扉パッキン・庫内の清掃……汚れたら

- 台所用中性洗剤(食器用・調理器具用)をうすめた水またはぬるま湯にやわらかい布をひたし、よくしぼってから拭き取ってください。

スノコの清掃……汚れたら

- スノコを取り出して掃除機やブラシを使ってホコリを取り除いてください。また、汚れがひどいときは水またはぬるま湯を使って丸洗いをしてください。

庫内に戻すときは水分を取り、充分乾燥させてから、平らな面を上にして置いてください。

冷却ユニット凝縮器フィン・排熱口の点検と清掃……必ず1カ月に一度

- 凝縮器フィン・排熱口についたホコリは掃除機と柔らかい毛のブラシを使って取り除いてください。
- ブラシでホコリを取り除くときは、凝縮器フィンに沿ってやさしく動かしてください。

お願い

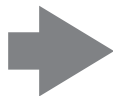
- シンナー・ベンジン・クレンザー・漂白剤・たわし・化学ぞうきんなどは、表面を傷付けますので使用しないでください。
- 庫内は、汚れがひどかったり、水分が多く付着しているとカビやサビが発生することがありますので、いつもきれいにしておいてください。
- 扉パッキンは引っぱったり、変形させないでください。冷氣もれ、庫内の結露、性能低下の原因になることがあります。
- 凝縮器フィンは変形させないでください。刃物や先の鋭いものは使わないでください。変形や破損させると故障の原因になります。

庫内温度表示部にこんな表示がでたときは

..... (表示) (内容)

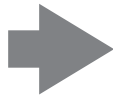
..... (処置)

	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定温度より低い温度を表示している。(5は例です。)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 庫内温度が設定温度よりも低い状態になっています。(冷却運転が停止している。)



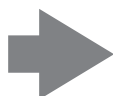
製品の異常ではありません。
冬期など外気温が低いときに表示することがあります。庫内温度が設定温度より高くなると自動的に運転を開始します。

	<ul style="list-style-type: none"> ● L表示している。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 庫内温度が-9℃よりも低い状態になっています。(運転が停止している。)



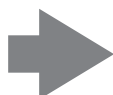
製品の異常ではありません。
庫内に熱いものを多量に入れたり、周囲が異常に高温になっていないか確認してください。

	<ul style="list-style-type: none"> ● H表示している。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 庫内温度が40℃よりも高い状態になっています。(運転している。)



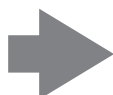
製品の異常ではありません。
霜取りが終わると通常運転になります。(P.7をご覧ください。)

	<ul style="list-style-type: none"> ● 霜取中
<ul style="list-style-type: none"> ● dF表示している。(霜取中ランプ点灯) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 霜取り運転中です。



非常運転に切り替わります。
お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡してください。

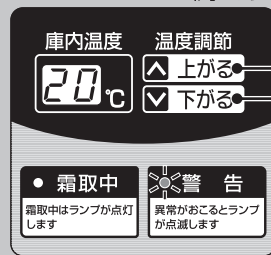
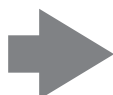
	<ul style="list-style-type: none"> ● 警告
<ul style="list-style-type: none"> ● E0またはE1表示している。(警告ランプ点滅) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 庫内温度検知部が故障しています。



庫内温度を表示し、警告ランプが点滅しているときは下記のように処置をしてください。

20℃は例です。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 警告
<ul style="list-style-type: none"> ● 庫内温度を表示している。(警告ランプ点滅)(20は例です) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転しているが庫内温度が下がらない、または上昇している状態です。



どちらかを押すと警告ランプは消えます。

1 扉を確実に閉め、直射日光があたっていたり、周囲温度が異常に高くなっていないか確認してください。

⇒ P.15「設置スペースおよび設置時のご注意」をご覧ください。

2 温度調節キーのどちらかのキーを押し、警告ランプを消します。

3 60分後に警告ランプが再び点滅していないか確認します。

警告ランプ	状態/対応
消えている	庫内温度は下がり始めています。
再点滅	庫内温度は下がっていません。お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡してください。

非常運転について

- 庫内温度検知部が故障したときは非常運転に切り替わり、冷却運転を続けます。これは今まで冷やしていた庫内の状態をできるだけ長く保つためですが、早めにお買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ連絡してください。

修理を依頼されるまえに

「故障かな?」と思ったときは次の点をお確かめください。

- 次の点検をしてもなお不具合が生じるときは、お買い上げの販売店または裏表紙にあるお客様相談窓口にご相談・点検をご依頼ください。
- ご自分での分解や修理は危険ですから絶対にしないでください。

「庫内がまったく冷えない」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。	P.10
2 専用回路の安全ブレーカーが「OFF」になっていませんか。	2 専用回路の安全ブレーカー(配電盤のブレーカーなど)を「ON」にしてください。	P.10
3 庫内温度表示部の表示が消えていませんか。	3 電源プラグをコンセントに差し込んでください。	P.10

「温度が下がらない」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 貯蔵物を入れた直後ではありませんか。	1 温度が下がるまでお待ちください。	P.5・6
2 直射日光があたっていませんか。	2 直射日光があたらないようにしてください。	P.15
3 周囲の風通しが悪くありませんか。	3 換気装置を設けて風通しをよくしてください。	P.15
4 扉を頻繁に開けていませんか。	4 扉の開閉はできるだけ少なく、開けている時間は短くしてください。	P.5
5 凝縮器フィン・排熱口にホコリがたまったり、ふさいでいる物はありませんか。	5 ホコリまたはふさいでいる物を取り除いてください。	P.2・11
6 貯蔵物は決められた範囲を超えて積み込んでいませんか。	6 正しい積み方をしているか確認をして、積み込み過ぎた貯蔵物は取り出してください。	P.5・8
7 冷えた庫内に熱いもの(例:収穫直後の野菜・粳すり直後の玄米など)を入れていませんか。	7 熱いものは室温まで冷ましてから入れてください。	P.5
8 扉はしっかり閉まっていますか。	8 扉を確実に閉めてください。	P.5
9 タコ足配線をしていませんか。	9 タコ足配線はやめてください。	P.1
10 不適切な延長コードを使っていませんか。	10 適切な延長コードを使用してください。 (太さ2mm ² 以上、長さ10m以下)	P.1

「温度が下がりすぎている」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 周囲温度が設定温度より低くありませんか。	1 周囲温度によって庫内が冷やされているため故障ではありません。	P.6

「庫内に水滴が落ちてくる」こんなときに…

お調べいただくこと	処置していただくこと	参照ページ
1 扉がわずかに開いた状態ではありませんか。	1 庫内を乾燥したタオルで拭き取り、扉を確実に閉めてください。	P.5
2 ドレンホースにゴミがつまっていますか。	2 ドレンホースのゴミを取り除いてください。	P.7
3 ペットボトルや一升ビンなどの口の小さなものを水受けとして使用していませんか。	3 口が広く、大きなものを水受けとして使用してください。	P.7
4 ドレンホースの先が上に曲がったり、水受けにたまった水の中に入っていないですか。	4 曲がりを直してください。 水受けにたまった水を捨ててください。	P.7

組立・設置方法

安全上のご注意

- この製品を組立・設置されるまえに、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく組立・設置してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

警告

<p>必ず実施</p> <p>組立・設置は専門業者が本書の組立・設置方法にしたがって実施する。 お客様ご自身で組立・設置をされ不備があると、感電・火災・水もれの原因になります。</p>	<p>必ず実施</p> <p>電気工事、配線は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および本書の組立・設置方法にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する。 電源回路不良、容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。</p>
<p>アース線接続</p> <p>アース工事を必ずおこなう。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。 不完全なアースは、感電・火災の原因になります。既設のアースがない場合は、電気工事業者によるD種接地工事をおこなってください。</p>	<p>必ず実施</p> <p>漏電遮断器を必ず取り付ける。 (推奨漏電遮断器：定格電流 15A (定格感度電流 30mA)) 漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。</p>
<p>必ず実施</p> <p>電源は本機の定格電圧・周波数で使用する。 火災・発火・発煙の原因になります。</p>	<p>必ず実施</p> <p>15A以上の安全ブレーカー、コンセントを単独で使用する。 他の機器とタコ足配線すると発熱による火災の原因になります。</p>
<p>必ず実施</p> <p>延長コードを使用するときは、太さ2mm²以上、長さ10m以下にする。 発熱による火災の原因になります。電圧降下により、正常に作動しない原因になります。</p>	<p>禁止</p> <p>可燃性ガスのもれるおそれのある場所に設置しない。 万一ガスがもれ、ユニットの周囲にたまると爆発・火災・発火・発煙の原因になります。</p>
<p>禁止</p> <p>屋外に設置しない。 雨・霧のかかる場所で使用されますと、感電・漏電の原因になります。</p>	<p>分解禁止</p> <p>改造は絶対しない。 改造工事をされると、感電・火災・水もれの原因になります。</p>

注意

<p>必ず実施</p> <p>床面が丈夫で平らな場所に水平になるように設置する。 設置に不備があると転倒によるケガ・水もれ・冷気もれなどの原因になることがあります。</p>	<p>禁止</p> <p>床がぬれてはいけない場所に設置しない。 湿度が高いときには製品の外側や扉回りに結露した露が滴下し床面をぬらす原因になることがあります。</p>
<p>必ず実施</p> <p>ドレンホースを確実に配管する。 水もれにより玄米袋などを湿らせる原因になることがあります。</p>	<p>禁止</p> <p>冷却ユニットは凹凸のある場所には置かない。 冷却ユニットの下面に貼付されているパッキンが変形し、冷気もれの原因になることがあります。</p>
<p>禁止</p> <p>アジャスターは最大調節高さ50mm以上に伸ばさない。 はずれると製品転倒などによる、ケガの原因や、本体がゆがむなどして冷却性能を損なう原因になることがあります。</p>	

組立・設置方法

設置作業をされる方へのお願い

- 設置作業は、本体および冷却ユニットの重さを充分考慮のうえ、安全におこなってください。

形 式	組み上がり後の 総質量	冷却ユニットの 質量
ARS-6000	約300kg	約25kg

⚠ 注意



組立・設置は、周囲の安全を確認した上で2人作業でおこなう。

必ず実施

1人での作業はケガの原因になります。

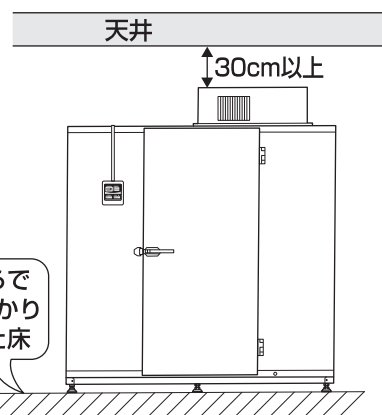
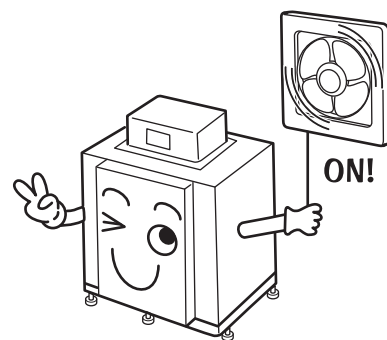
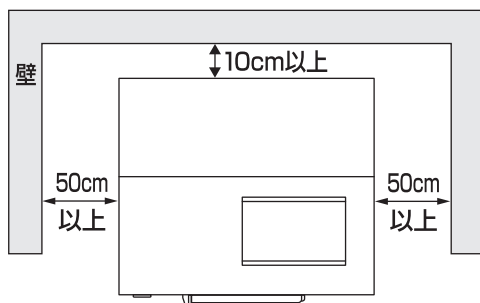
- 組立・設置完了後、試運転をおこない異常がないことを確認し、説明書にしたがって使用方法、お手入れのしかた、保証書にしたがって修理規定の説明をしてください。
- 子供などが庫内に入らないように、錠などで扉が開かないようにすることを説明してください。
- この説明書は、保証書と一緒にお客様が保管していただくことを説明してください。

設置スペースおよび設置時のご注意

この製品を設置されるときは、下記事項を必ずお守りください。

- 冷却ユニットは放熱がありますので、壁から離して、風通しをよくしてください。
風通しが悪いと結露したり、冷却能力が低下します。
風通しが悪い場所・製品の周囲にスペースが取れない場所に設置するときは、必ず、換気装置を設けてください。

製品の周囲は、左右50cm、後面10cm、上面30cm以上のスペースを取ってください。



- 直射日光のあたる場所には設置しないでください。直射日光のあたる場所では必ず日除けを設けてください。
- 周囲温度が35℃以上の場所に設置しないでください。周囲温度が35℃以上でも運転はおこないますが、冷却能力が低下して冷えない原因になります。また、保護装置が作動する場合があります。

組立・設置に必要な主な工具

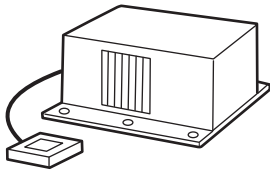
- 必要な工具を準備してください。

- ・ ⊕ドライバー(3番・2番)
- ・ 電動ドライバー[⊕のビット(2番)]
- ・ スパナ(10mm・19mm)
- ・ 踏み台または脚立(2台)
- ・ ラatchetハンドル
- ・ ボックスビット(13mm)
- ・ 水平器(2個)
- ・ ウェス
- ・ ソケット(10、13、17mm)
- ・ エクステンションバー
- ・ ⊖ドライバー

付属品の確認

●必要な部品がそろっていることを確認してください。

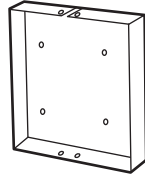
冷却ユニット



	形式
ARS-6000SK用	ARS-C60
ARS-6000TK用	ARS-C60T

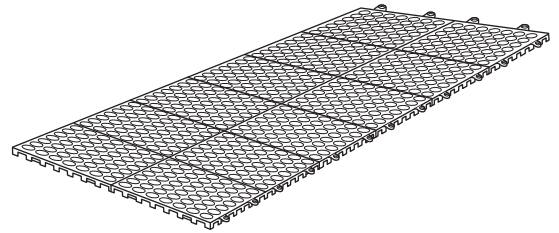
1個

操作パネル取付板



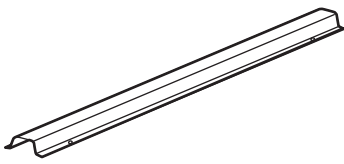
1個

スノコ



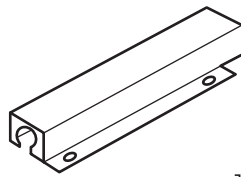
2組(12枚セット)

柱



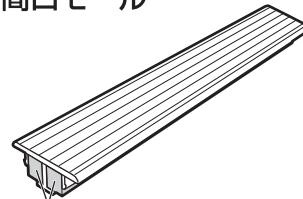
13個

電源コードガード



1個

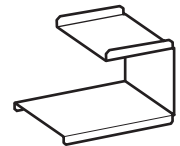
間口モール



パッキン

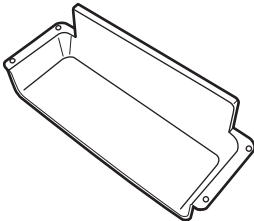
2個

水平出し用金具



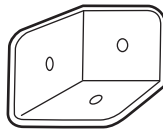
2個

庫内ダクト



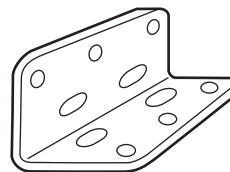
1個

コーナーブラケット



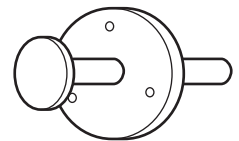
8個

接続ブラケット



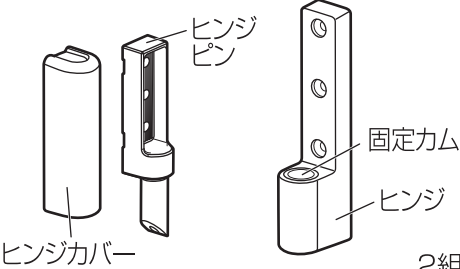
4個

安全押棒



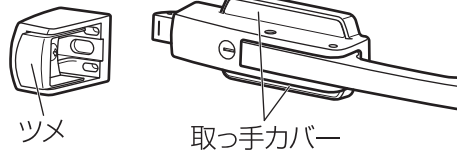
1個

ヒンジセット



2組

取っ手受け・取っ手



ツメ

取っ手カバー

各1個

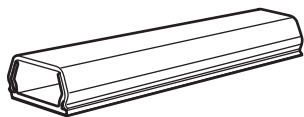
キー

(取っ手についています)



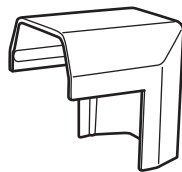
2個

配線モール



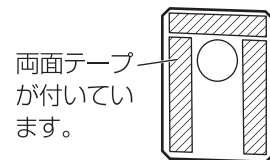
1個

配線モール(コーナー)



1個

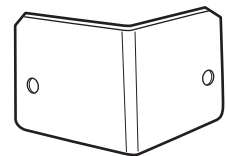
ドレンパイプカバー



両面テープが付いています。

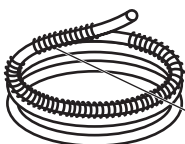
1個

架台コーナーガード



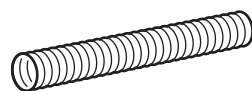
4個

ドレンホース



1個

ホースガード(コイル)



5個

ホースクランプ



7個(予備1個)

扉ストッパー
(グレーのゴム)



1個

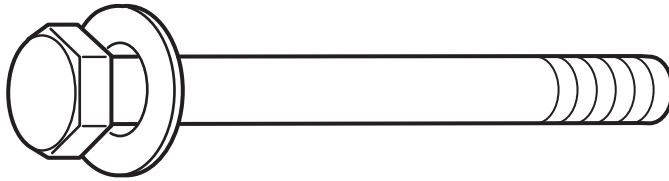
組立・設置方法

付属品の確認

●必要な部品がそろっていることを確認してください。

架台連結ボルト(平座金)

架台連結 4個

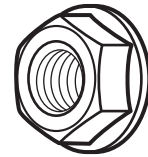


径 長さ
12mm×120mm

4個

架台連結ナット

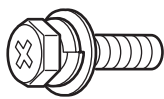
架台連結 4個



4個

六角ボルト(M6)

冷却ユニット 6個
ヒンジ扉側 2個

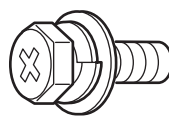


径 長さ
6mm×18mm

8個

六角ボルト(M8)

コーナーブラケット 24個
接続ブラケット 12個

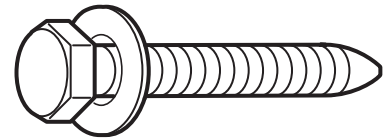


径 長さ
8mm×16mm

36個

コーチスクリュー(平座金)

天井パネルの固定 8個

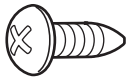


径 長さ
6mm×63mm

8個

タッピンネジ

操作パネル取付板 4個 柱 52個
操作パネル 4個 庫内ダクト 4個
電源コードガード 2個 予備 1個
ホースクランプ 6個

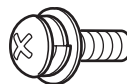


径 長さ
4mm×8mm

73個

ナベコネジ(M4)

安全押棒 3個

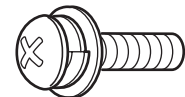


径 長さ
4mm×10mm

3個

ナベコネジ(M5)

ヒンジ扉側 4個

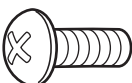


径 長さ
5mm×18mm

4個

タップネジ

架台コーナーガード 8個

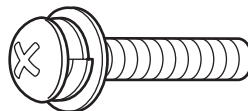


径 長さ
5mm×12mm

8個

ナベコネジ(M6)

取っ手 4個
取っ手受け 2個

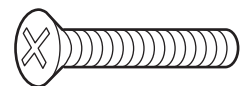


径 長さ
6mm×25mm

6個

サラコネジ

ヒンジ本体側 4個

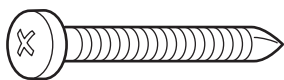


径 長さ
6mm×25mm

4個

ドリルネジ(長)

パネルの連結 10個
予備 1個

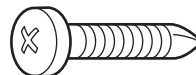


径 長さ
4mm×30mm

11個

ドリルネジ(短)

ホースクランプ 6個
扉ストッパー 1個
予備 2個

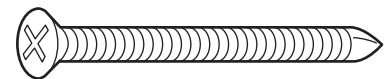


径 長さ
4mm×20mm

9個

サラドリルネジ

床パネルの固定 8個



径 長さ
4mm×60mm

8個

グロメット(黒いゴム)



1個

ラベル類(P.32をご覧ください。)

- ・警告ラベル 1枚
- ・ロゴラベル 1枚
- ・安全押棒ラベル 1枚
- ・定格ラベル 1枚

製造No.の記入について

組立・設置をする前に本体・冷却ユニット・付属品セットの製造No.を受領証(保証書裏側)に必ず控えてください。製造No.は、下記の場所に表示されています。

本 体	冷却ユニット	付属品セット
扉内側に貼付する定格ラベル	冷却ユニットに貼付のラベル	梱包箱のスタンプ印

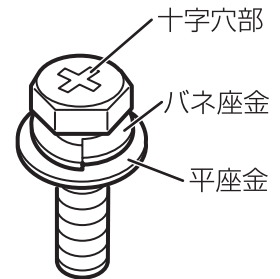
六角ボルトの締め付けについて

●仮締めの方法

ドライバーまたは手で2~3回転ねじ込んでから電動ドライバー(+ビット〔2番〕またはボックスビット〔13mm〕)で軽く締め付けてください。はじめから電動ドライバーで締め付けるとボルトがななめに入って回らなくなったり、十字穴部がつぶれるおそれがあります。

●本締めの方法

バネ座金がつぶれるところまでスパナで締め付けてください。強く締めすぎるとネジ部を切断するおそれがあります。また電動ドライバーを使用すると十字穴部がつぶれるおそれがあります。

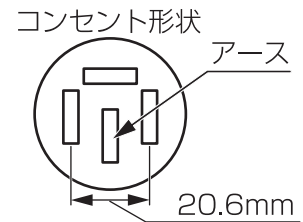


三相200V仕様の電源プラグについて

三相200V仕様の電源プラグは接地極(アース)付き3極(20A 250V)を使用しています。

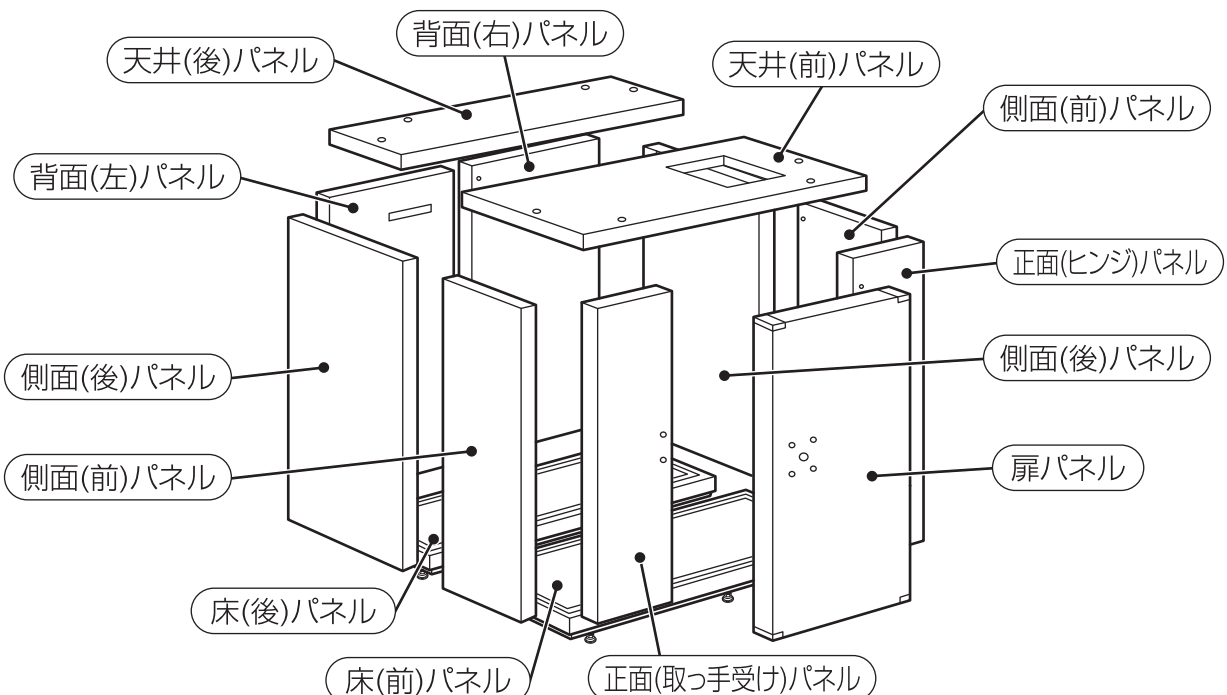
電源プラグに合ったコンセントがないときは、電気工事店へ依頼してコンセントを取り付けてください。

冷却ユニットは、レシプロのコンプレッサーを使用していますので、モーターの正転・逆転による支障はありません。



本体を構成するパネル

イラストは扉右開き仕様をあらわしています。



組立・設置方法

組立

イラストの中で①～⑫はパネルの組立順番をあらわします。また、パネルの名称ラベルを貼ってある面が庫内側になります。
組立時には重量物を扱うため、手袋・ヘルメット・安全靴を着用してください。

1 架台を設置する。

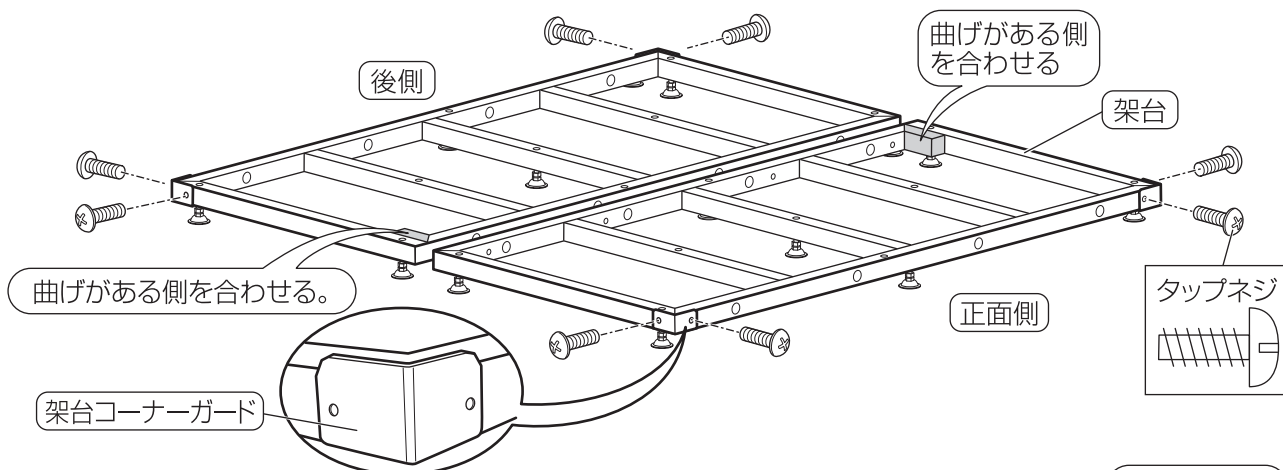
必要なネジ	架台連結ボルト(平座金)	4個
	架台連結ナット	4個
	タップネジ	8個

⊕ドライバー(2番)または電動ドライバー
⊖ドライバー・スパナ(19mm)
ラチェットハンドル・ソケット(17mm)
水平器(2個)使用

- 1 設置場所に置く前にアジャスターのロックナットをゆるめておきます。
- 2 設置場所を確認し、架台を2枚並べ、高い架台を基準とします。このとき2枚の架台は曲げがある側を内側で合わせます。(曲げのある側を内側で合わせないと、架台の連結ができません。)
- 3 架台コーナーガードを取り付けます。
 - 架台の4コーナーに架台コーナーガードをタップネジで取り付けます。

重要

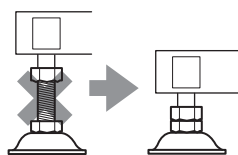
- 架台の組立・水平出しは慎重に作業をおこなう。パネルを取り付けたときにすき間ができる原因になります。



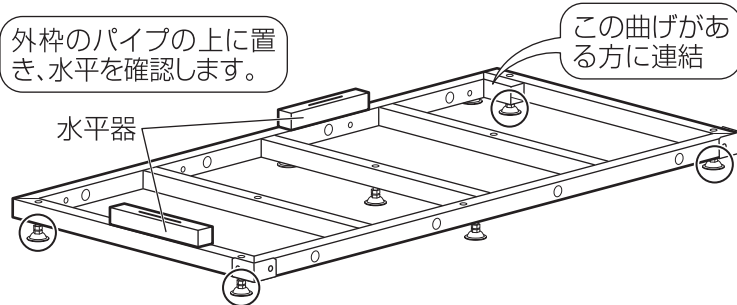
- 4 基準となる架台(1枚)の一番高いコーナーを把握し、そこを基準に他3コーナーのアジャスターを調節し、水平器で確認しながら水平出しをおこないます。(他3カ所のアジャスターは最後に調節します。)

重要

基準となるアジャスターは短くする。



- 5 水平出しをおこなった架台の上に乗る、浮きのないことを確認します。



○部4カ所のアジャスターを先に調節する。

⚠ 注意

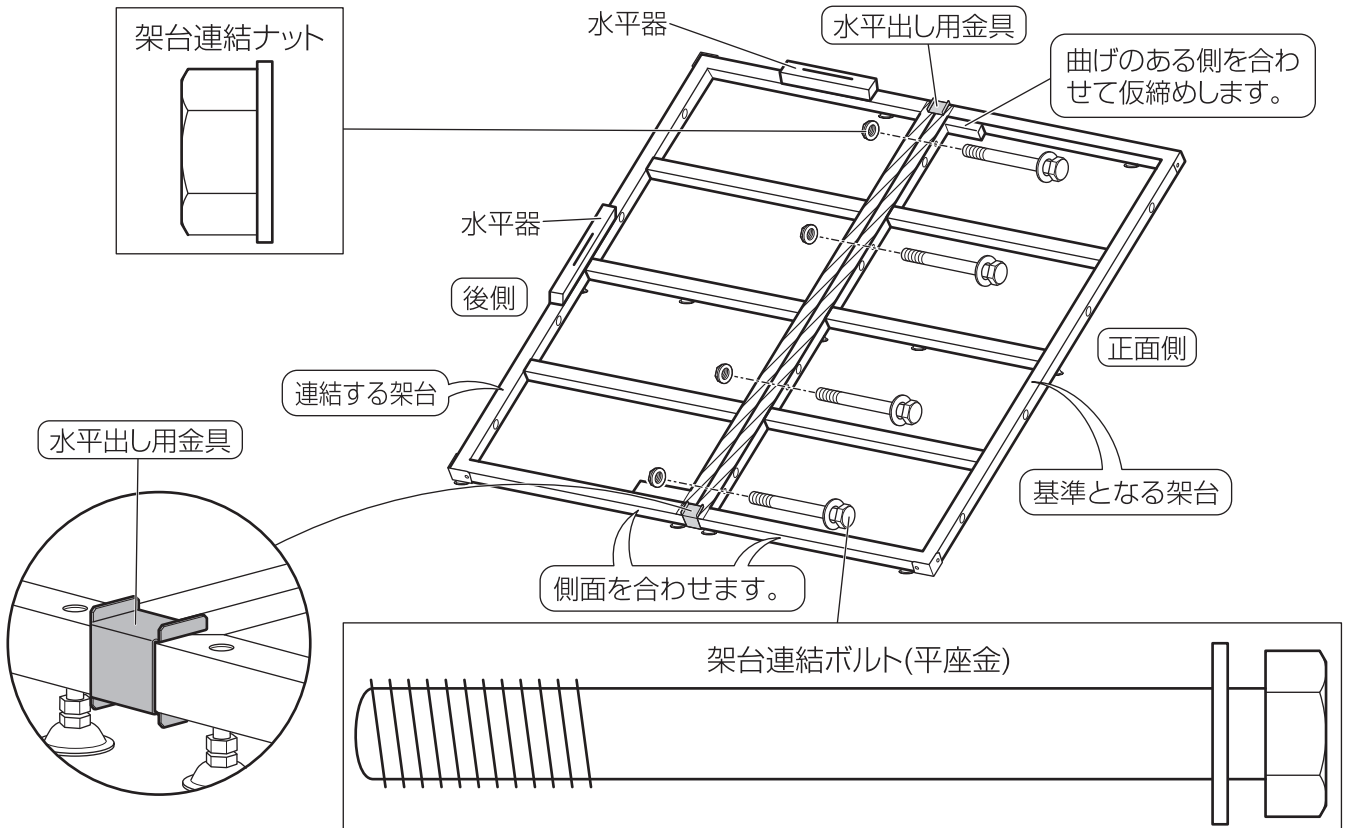


禁止

アジャスターの最大調節高さ50mm以上に伸ばさない。

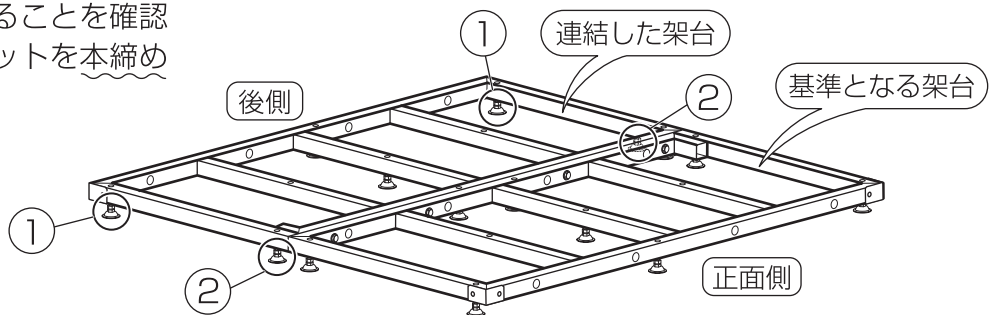
はずれると製品転倒などによる、ケガの原因や本体がゆがむなどして冷却性能を損なう原因になることがあります。

- ⑥ 水平出しをおこなった架台の隣に次の架台を置き(曲げがある側を合わせる)、連結部の両端に水平出し用金具を入れ、ある程度上面を合わせてから、架台連結ボルト(平座金)と架台連結ナットで仮締めをします。



- ⑦ 連結した架台の4コーナーのアジャスターを調節し、水平器で確認しながら水平出しをおこないます。
- (1) 連結した架台の外側2コーナーのアジャスター①を調節し、水平器で確認しながら水平出しをおこないます。
 - (2) ②のアジャスターを軽く抵抗がかかるまで伸ばします。
 - (3) 水平出し用金具を取りはずし、基準となる架台と連結した架台の結合部上面が水平であることを確認してから架台連結ナットを本締めします。
 - (4) 水平出しをおこなった架台の上に乗る、浮きのないことを確認します。

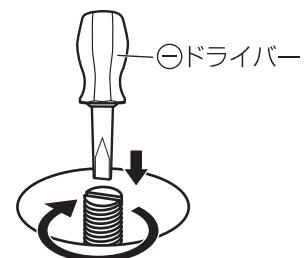
基準となる架台と連結した架台に水平器をわたしてガタつきがないか確認してください。ガタつきがあるときは②のアジャスターで調節します。



アジャスター調節方法

アジャスターのネジ部先端の一溝に⊖ドライバーを入れて、アジャスターの底面が設置面にあたるまで伸ばします。

アジャスターを伸ばすとき：「時計回り」の方向に回します。
アジャスターを縮めるとき：「反時計回り」の方向に回します。



組立・設置方法

2 床パネルを架台に固定する。

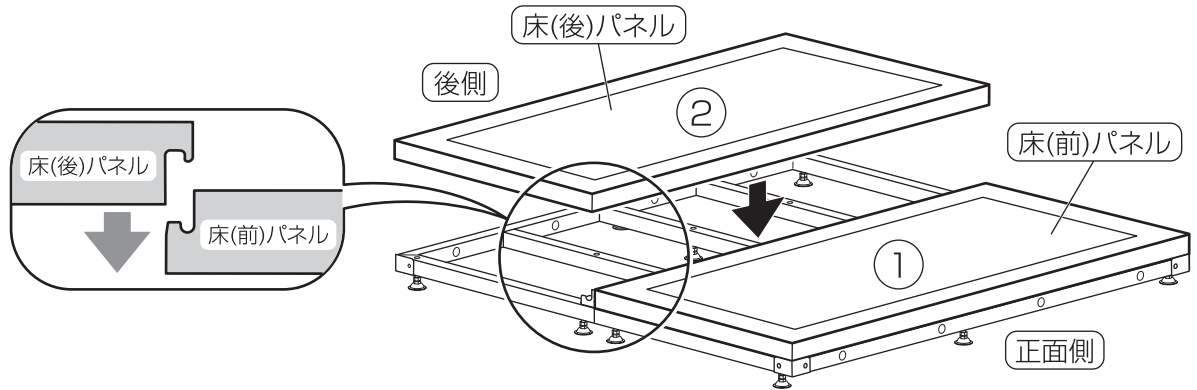
必要なネジ | サラドリルネジ | 8個

電動ドライバー使用

- 1 床(前)パネルを架台の上に置きます。
- 2 床(前)パネルの溝(凹部)に床(後)パネルの凸部を入れて、床パネルを置きます。

重要

必ず前から置いてください。
後から置くと組み立てができません。

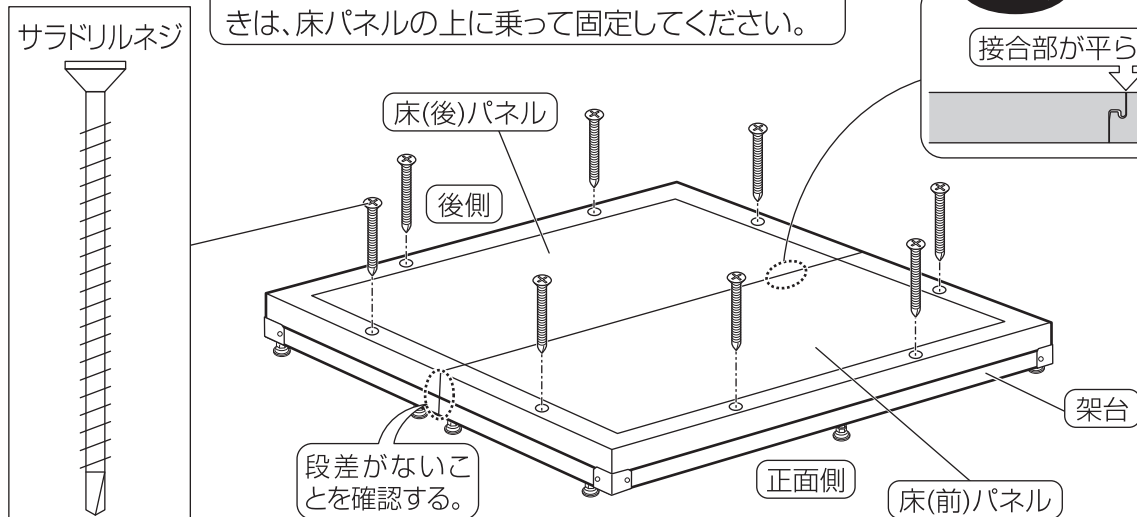


- 3 床パネルの接合部が平らになるように押し込みます。
- 4 床パネルの前後の接合部に段差がないことを確認し、床パネルの溝の穴に合わせ、サラドリルネジで架台に固定します。(8カ所)

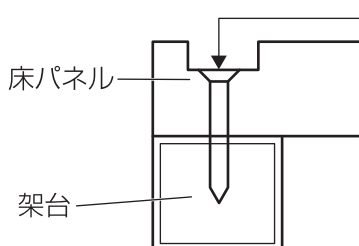
架台をサラドリルネジで固定するとき、床パネルが浮き上がることがありますので、このようなときは、床パネルの上に乗って固定してください。

重要

接合部が平らになること



サラドリルネジの締め付けについて



溝の底面よりネジの頭が出ないようにねじ込む。(締め過ぎに注意)

※ネジの頭が出ているとパネルを組み付けたときにネジの頭とパネルの凸部があたってしまいパネルの結合部にすき間ができてしまいます。

このすき間から庫内の冷気がもれ、庫内が十分に冷えなかったり結露の原因になります。

3 パネルを取り付ける。

必要なネジ 六角ボルト(M8) 28個

⊕ドライバー(3番)・電動ドライバー・ボックスビット(13mm)・ソケット(13mm)使用

●説明・イラストは右側面側からの組立順番になっていますが、左側面側から組み立てるときも同じ要領で組み立てます。

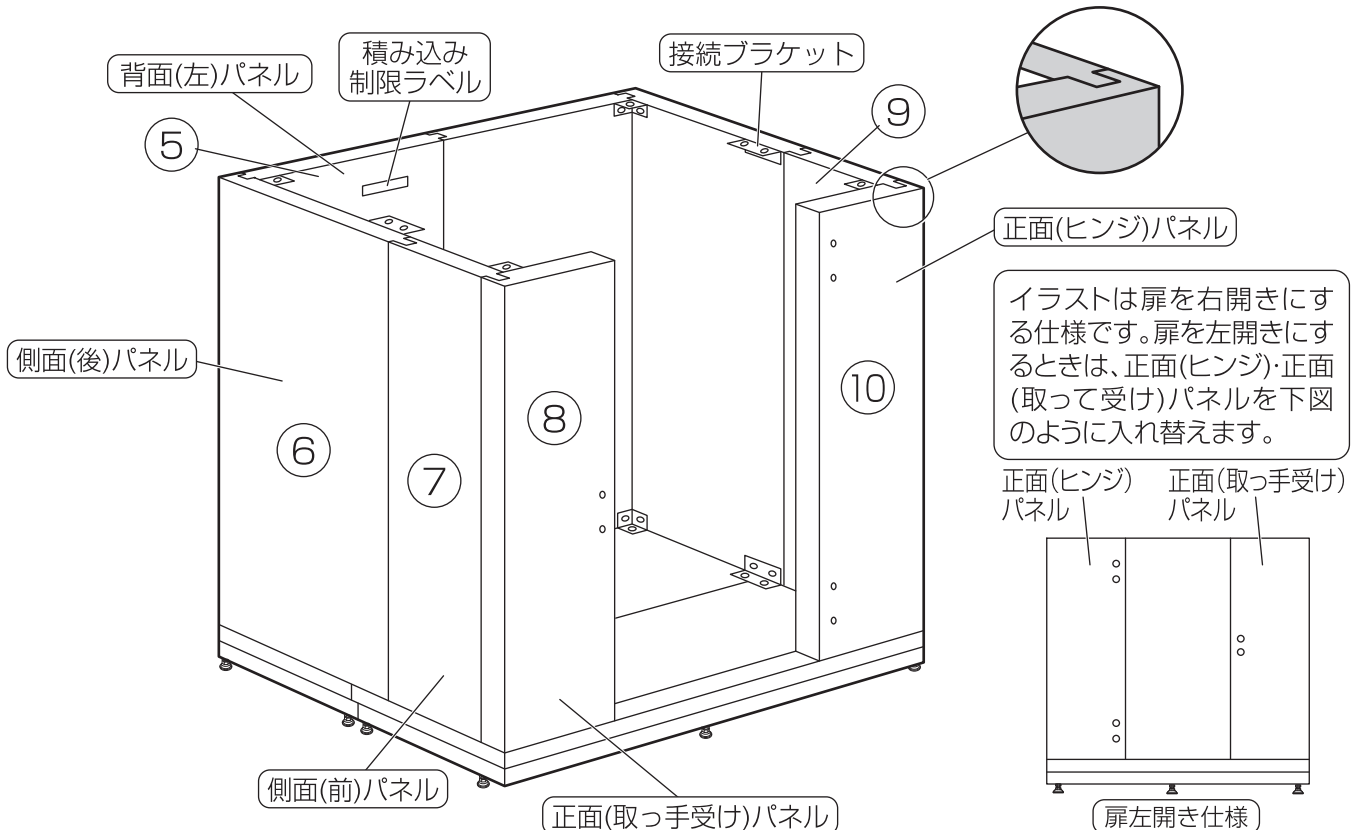
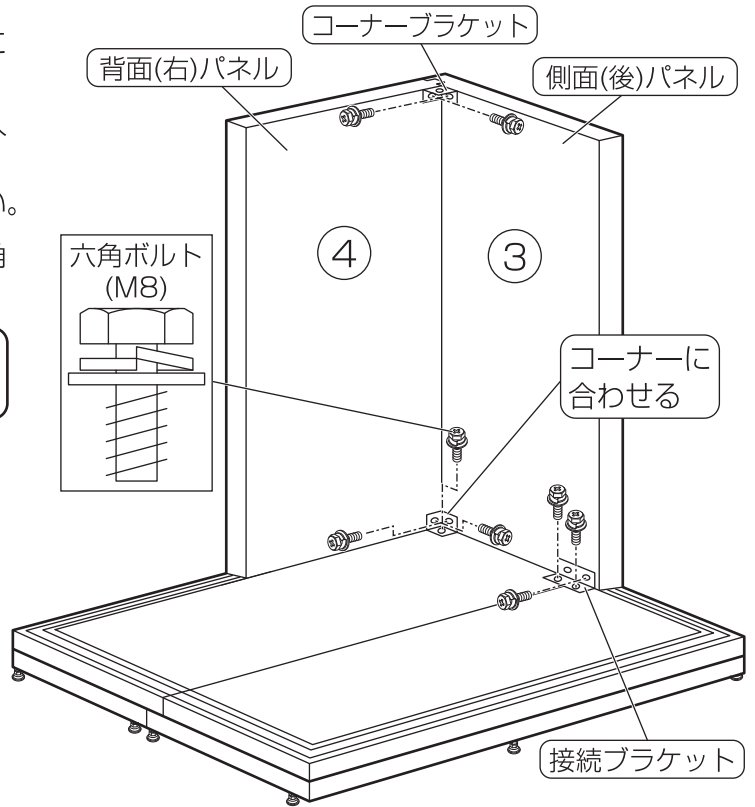
1 側面(後)パネル・背面(右)パネルの順に床パネルに取り付けます。
 パネルの凸部を床パネルの溝(凹部)に入れて立てます。
 ※床パネルが動かないように注意してください。

2 コーナーブラケットを床側と天井側に六角ボルト(M8)で仮締めします。

パネルが不安定なので、一人はブラケットを仮締めするまでおさえていてください。

3 **1****2**の要領で、背面(左)パネル・側面(後)パネル・側面(前)パネル・正面(取っ手受け)パネル・側面(前)パネル・正面(ヒンジ)パネルの順番に床パネルに取り付け、コーナーブラケット・接続ブラケットを六角ボルト(M8)で仮締めします。

コーナーブラケット	8カ所
接続ブラケット	4カ所



組立・設置方法

4 天井パネルを取り付ける。

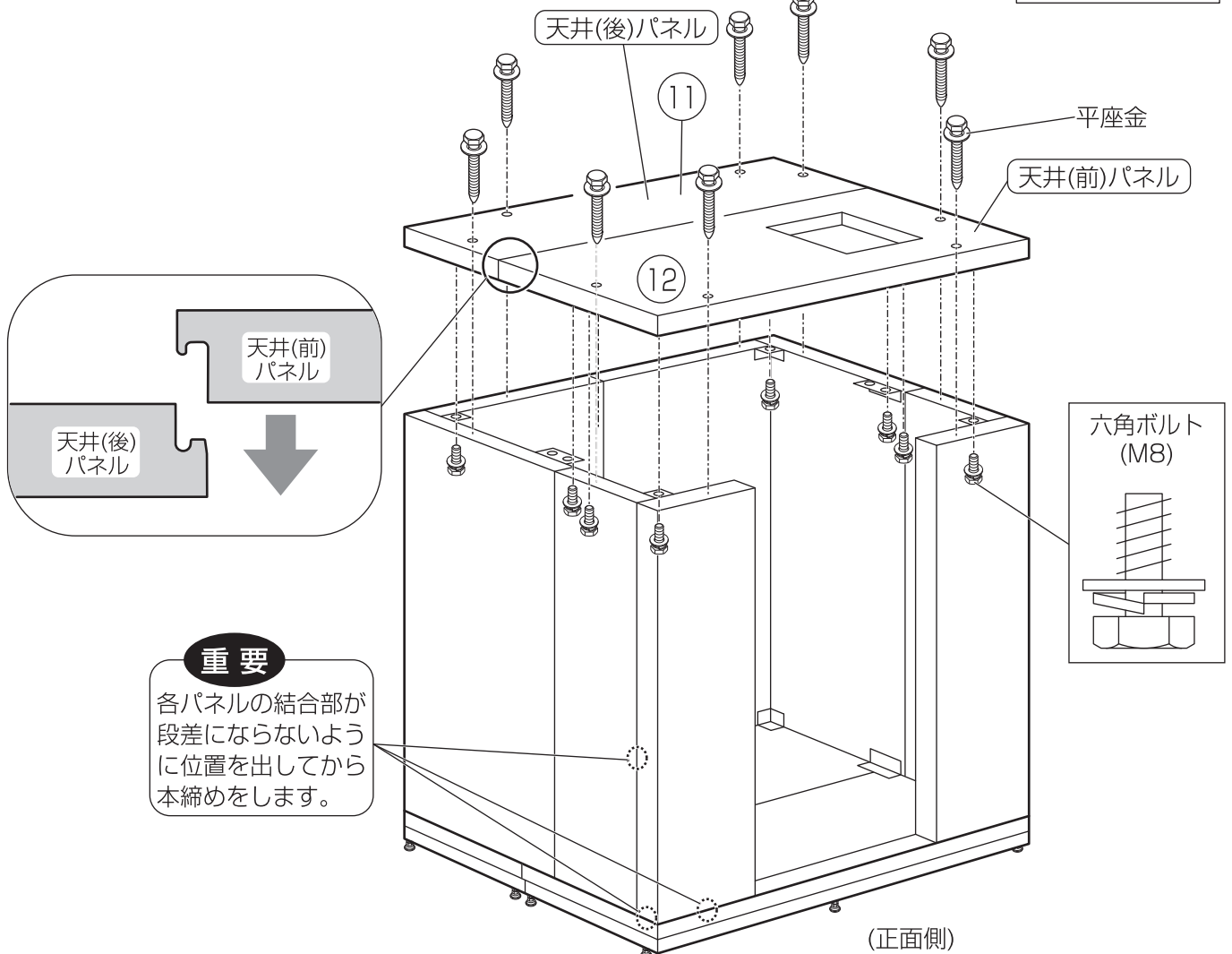
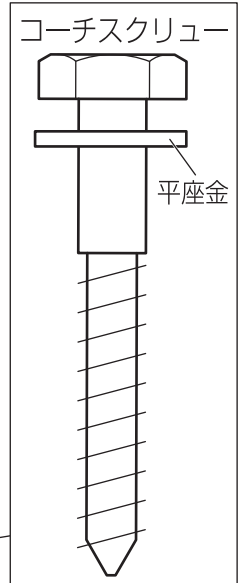
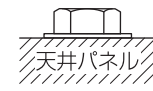
必要なネジ	六角ボルト(M8)	8個
	コーチスクリュー(平座金)	8個

⊕ドライバー(3番)・電動ドライバー・ボックスビット(13mm)・ラチェットハンドル・ソケット(13・17mm)使用

- 1 天井(後)パネル・天井(前)パネルの順番に取り付けます。
天井パネルの溝(凹部)に各パネルの凸部を入れます。
天井パネルのコーナブラケットと接続ブラケットを六角ボルト(M8)で仮締めします。
- 2 各パネルの位置を出し、全てのコーナブラケット・接続ブラケットの六角ボルト(M8)を本締めします。
- 3 天井パネルをコーチスクリューと平座金で固定します。(8カ所)

コーチスクリューの締め付け方

コーチスクリューは締めすぎないように注意してください。締めすぎるとパネルが変形したり、ネジが空回りすることがあります。コーチスクリューの頭と平座金が密着したら締め付けをやめます。



5 パネルを連結し、間口モールを取り付ける。

必要なネジ | ドリルネジ(長) | 10個

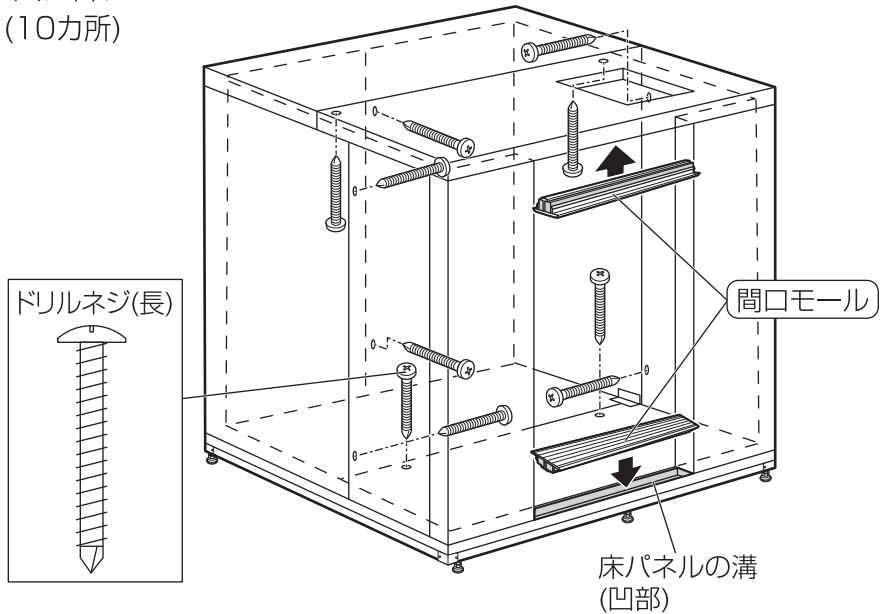
電動ドライバー使用

- 1 床パネル・天井パネル・側面パネル・背面パネルの接続部を庫内側から穴に合わせてドリルネジで固定します。(10カ所)

ドリルネジの締め付け方

ネジは空回りさせないために、ドリルネジが食い込んだところでいったん電動ドライバーを止めて、あとは少しずつ締め付けます。

- 2 床パネル・天井パネルの溝(凹部)に間口モールを強く押し込んで取り付けます。(両端を先に入ると取り付けやすくなります。)



6 柱・庫内ダクトを取り付ける。

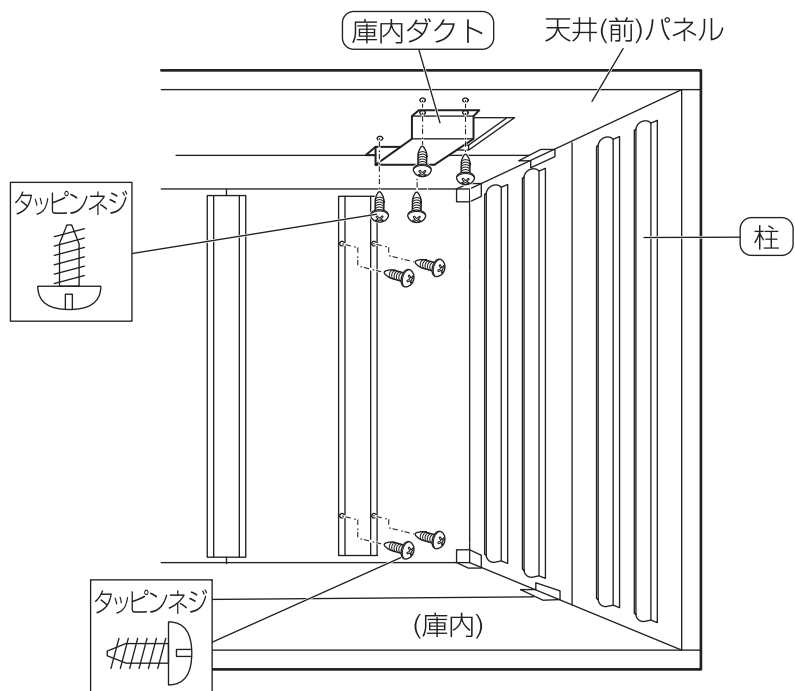
必要なネジ | タッピンネジ | 56個

電動ドライバー使用

- 1 柱の穴と庫内の穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(52カ所)

背 面	3本
右 側 面	4本
左 側 面	4本
右 正 面	1本
左 正 面	1本
合 計	13本

- 2 庫内ダクトを天井(前)パネルにタッピンネジで固定します。(4カ所)



組立・設置方法

7 冷却ユニットを取り付ける。

必要なネジ 六角ボルト(M6) 6個

⊕ドライバー(3番)・
スパナ(10mm)使用

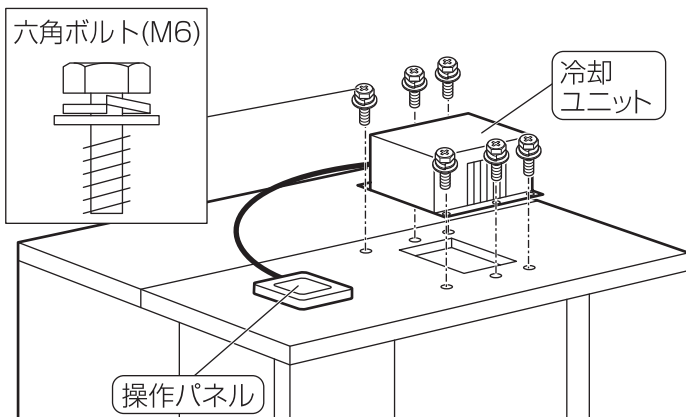
- 1 天井パネルの上に冷却ユニットをのせます。
- 2 冷却ユニットを六角ボルト(M6)で固定します。(6カ所)

重要

- 冷却ユニットを取り扱うときは、フィンに手をふれないでください。フィンが曲がり冷却能力が低下します。
- 冷却ユニットは静かにのせ、ひきずらないでください。冷却ユニットが損傷したり、天井パネルに傷が付きます。
- 冷却ユニットは逆さにしたり横にしないでください。機能に支障が出るおそれがあります。
- 落下したものは使用しないでください。冷媒もれにより庫内が冷えなかったり、故障の原因になります。

注意

- ⊘ 冷却ユニットは凹凸のある場所には置かない。冷却ユニットの下面に貼付されているパッキンが変形し、冷気もれの原因になることがあります。



8 ドレンパイプカバー・電源コードガードを取り付ける。

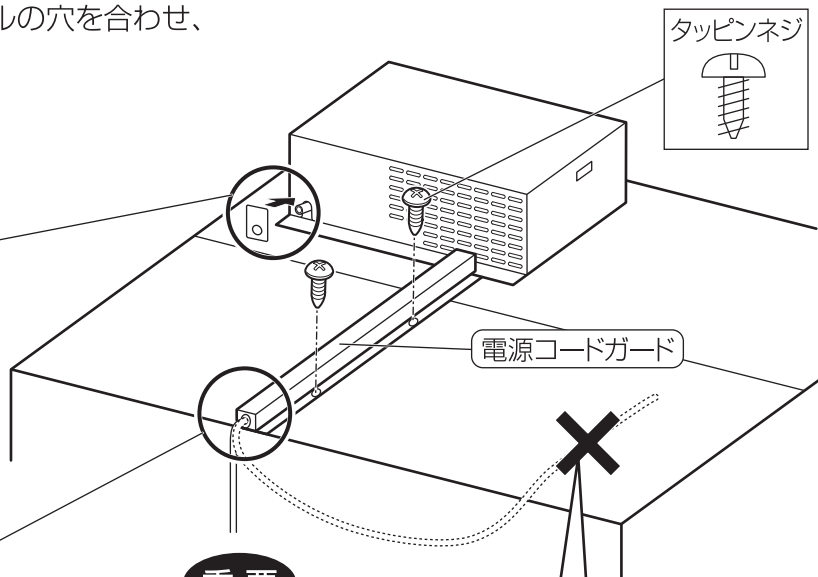
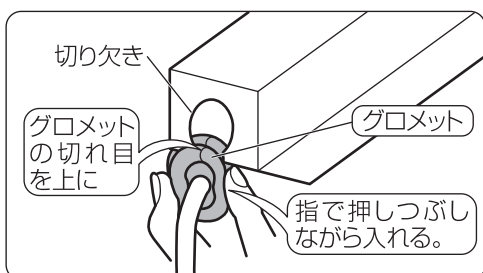
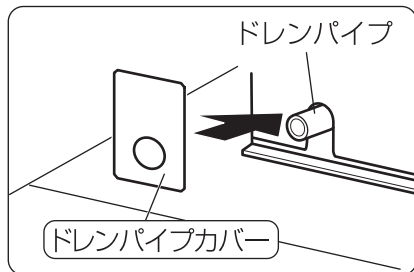
必要なネジ タッピンネジ 2個

⊕ドライバー(2番)または電動ドライバー使用

- 1 冷却ユニット背面板のドレンパイプ部にドレンパイプカバーを両面テープで貼り付けます。
- 2 グロメットの切れ目から電源コードを入れ、電源コードガードの切り欠き部にはめ込みます。
- 3 電源コードガードの穴と、天井パネルの穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(2カ所)

重要

ドレンパイプカバーは、ドレンパイプ下側からネズミの侵入を防ぐための部品です。強く押しつけてください。



重要

電源コードは天井パネルの上を引き回さない。ネズミなどにかじられて感電・火災の原因になります。

9 ドレンホースを取り付ける。

必要なネジ	ホースクランプ	7個(予備1個)	タッピンネジ	6個
	ドリルネジ(短)	8個(予備2個)		

電動ドライバー使用

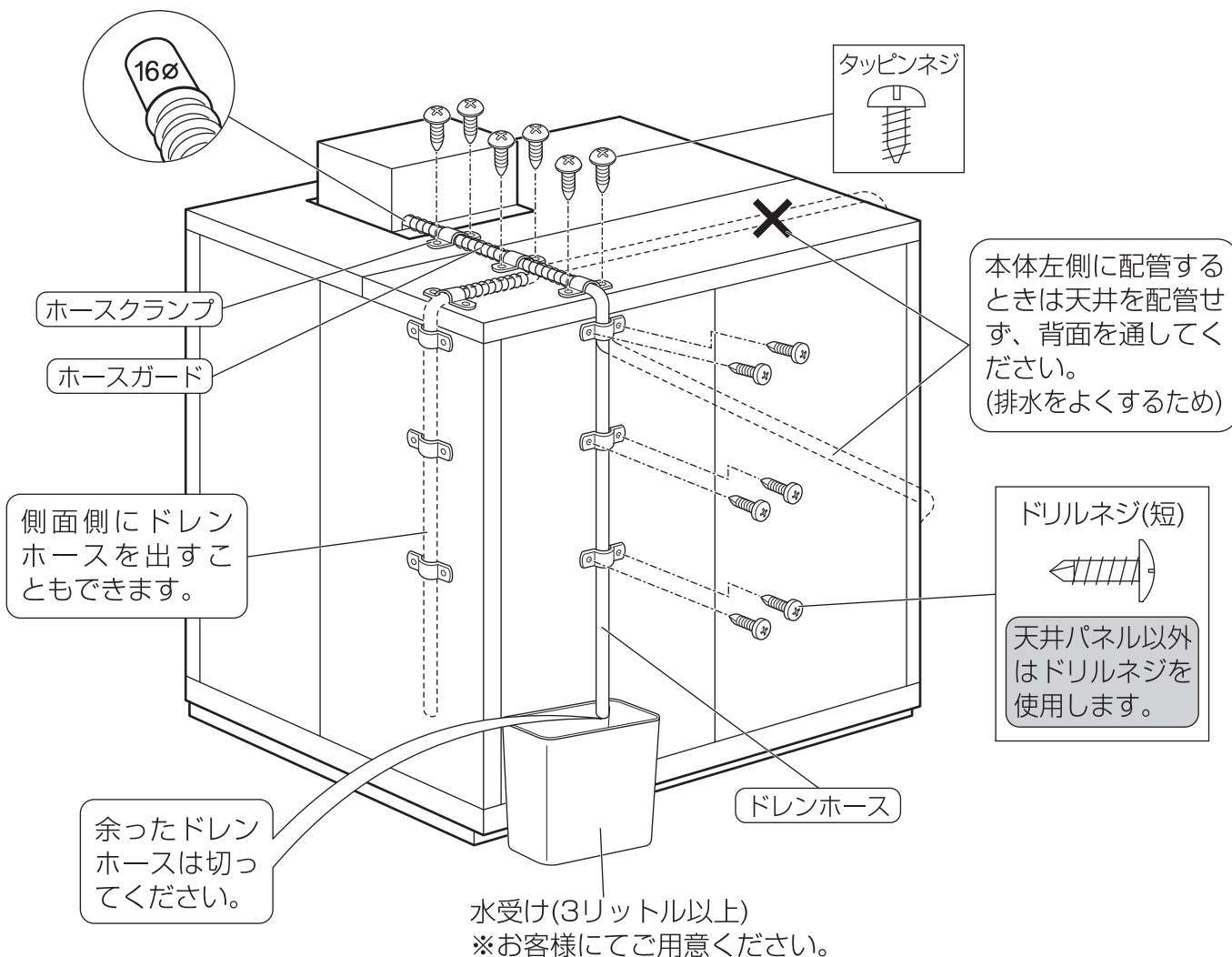
- 1 ドレンホース(φの刻印がある側)をドレンパイプの奥までしっかり差し込みます。
- 2 ホースガード(コイル)をドレンパイプの奥まで移動します。
- 3 ドレンホースをホースクランプで本体に固定します。
(天井パネルには下穴はありますが、他のパネルには下穴はありません。)

ホースガード・ホースクランプの取り付け位置はP.27をご覧ください。

重要

ホースガード取り付け上の注意

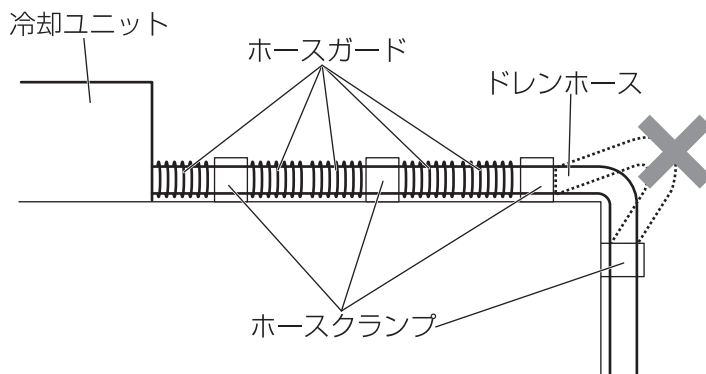
- 冷却ユニットのドレンパイプ・ドレンホースをネズミから保護するためのものです。
- ホースガードの上からホースクランプを固定しないでください。
- ホースガードが持ち上がらないよう、ホースクランプに密着させるよう固定してください。



組立・設置方法

重要

ドレンホース取り付け上の注意



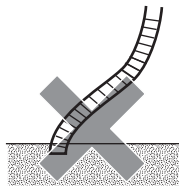
- 奥までしっかり差し込んでください。すき間があると水もれや結露することがあります。
- 冷却ユニットからの排水の流れを良くするため、ドレンホースは途中で持ち上がらないよう、まっすぐにしてホースクランプで固定してください。ドレンホースが持ち上がっていると排水ができなくなり、庫内のドレン皿から水があふれて玄米袋などをぬらしてしまいます。

ドレンホース配管上の注意

・S字にしない。



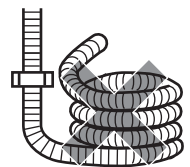
・土中に埋めない。



・水面につけない。

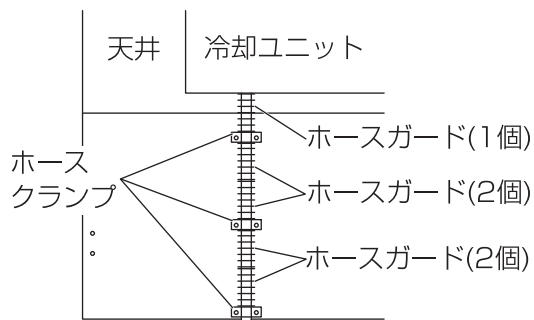


・巻かない。

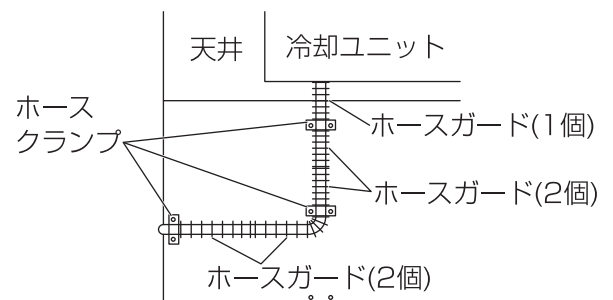


ホースガード・ホースクランプの取り付け位置

背面へ配管するとき



側面へ配管するとき



10 操作パネル取付板・配線モールを取り付ける。

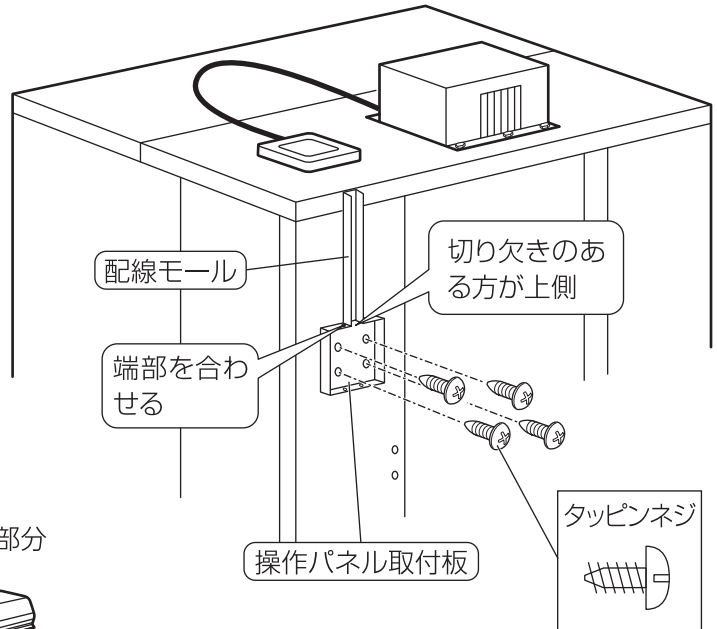
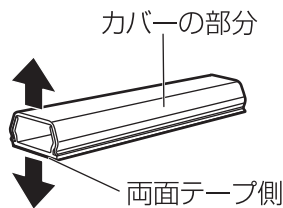
必要なネジ タッピンネジ 4個

⊕ドライバー(2番)または電動ドライバー使用

- 1 操作パネル取付板の穴と正面(取っ手受け)パネル上側の穴を合わせ、タッピンネジで固定します。(4カ所)

扉の右開き、左開きによって正面(取っ手受け)パネルの位置が左右入れ替わります。

- 2 配線モールを貼り付けるパネルの表面は汚れや油分をきれいに取り除きます。
- 3 配線モールの両面テープが付いている側とカバーを分離しておきます。
- 4 配線モールと操作パネル取付板の中心を合わせまっすぐ貼り付けます。



11 操作パネルを取り付ける。

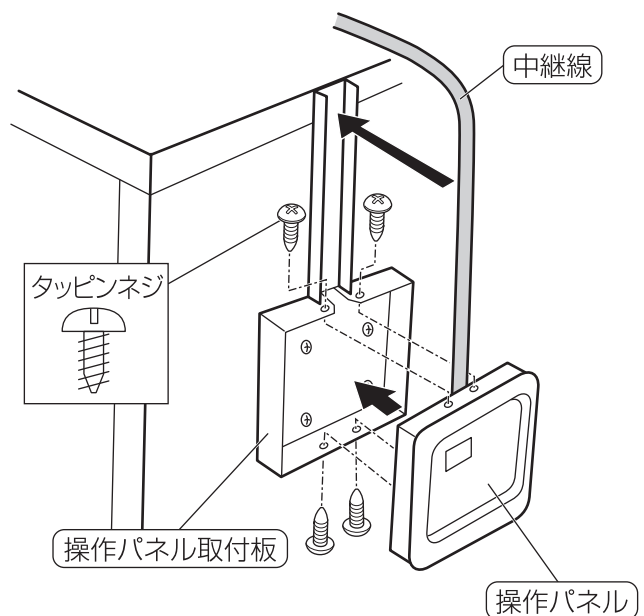
必要なネジ タッピンネジ 4個

⊕ドライバー(2番)または電動ドライバー使用

- 1 操作パネル取付板に操作パネルをはめ込みます。このとき冷却ユニットと操作パネルをつないでいる中継線を配線モールの中に納めます。
- 2 操作パネルの穴と操作パネル取付板の穴を合わせ、タッピンネジで固定します。

注意

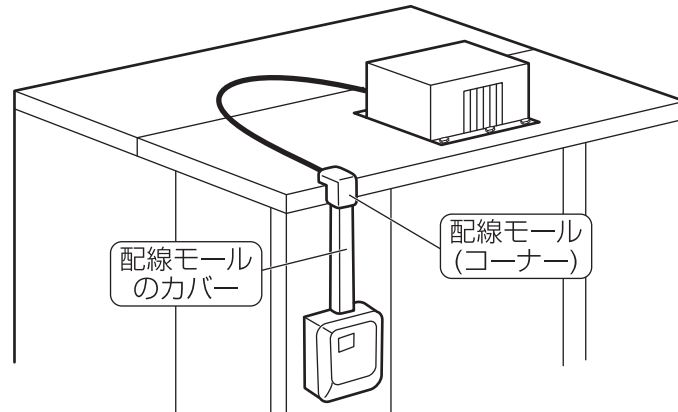
中継線をはさまないように注意してください。



組立・設置方法

12 配線モールのカバーを取り付ける。

- 1 中継線が配線モールの中でたるんでいないか確認し、配線モールのカバーを取り付けます。
- 2 天井の上の中継線を整えてから配線モール(コーナー)を配線モールの上からはめ込みます。

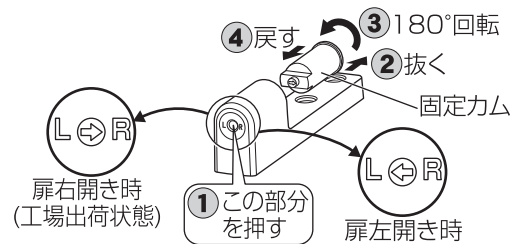
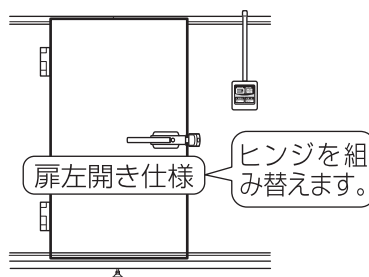


13 取っ手受け・ヒンジ・扉ストッパーを本体に取り付ける。

必要なネジ	サラコネジ	4個	ナベコネジ(M6)	2個
	ドリルネジ	1個		

⊕ドライバー(2番・3番)・電動ドライバー使用

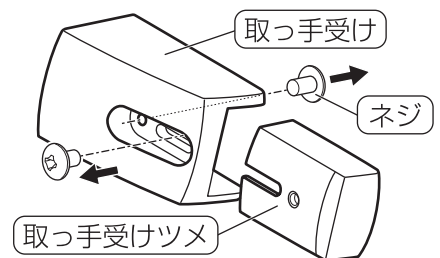
- 1 扉左開きのときは、ヒンジ(2個)を組み替えます。
 - 固定カムの矢印を逆向きに組み替えます。



- 2 取っ手受けのネジ(内外の2個)をはずして取っ手受けツメを取りはずします。

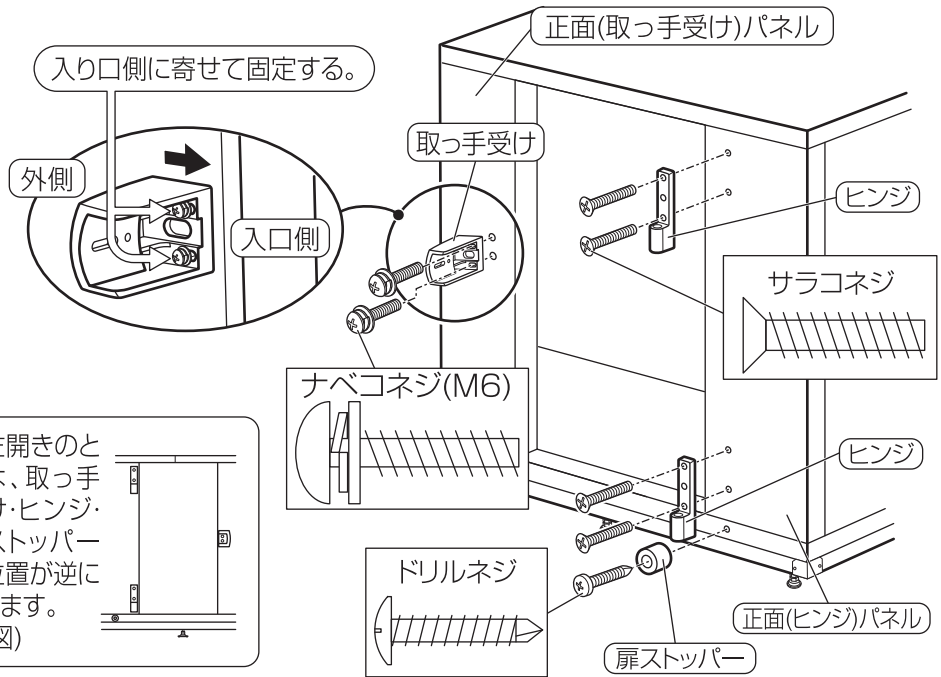
取っ手受けツメをはずさないで取っ手受けをパネルに取り付けできません。

取りはずしたネジは15-③で使います。



- 3 正面(取っ手受け)パネルに取っ手受けをナベコネジ(M6)で固定します。(2カ所)

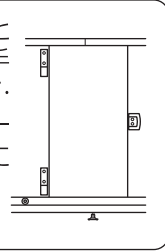
取っ手受けは入口側に寄せて固定してください。外側寄りに取り付けると、取っ手との調節ができません。



- 4 正面(ヒンジ)パネルにヒンジ(2個)をサラコネジで固定します。(4カ所)

- 5 床パネルに扉ストッパーをドリルネジで固定します。(1カ所)

扉左開きのときは、取っ手受け・ヒンジ・扉ストッパーの位置が逆になります。(右図)



14 ヒンジピン・取っ手・安全押棒を扉に取り付ける。

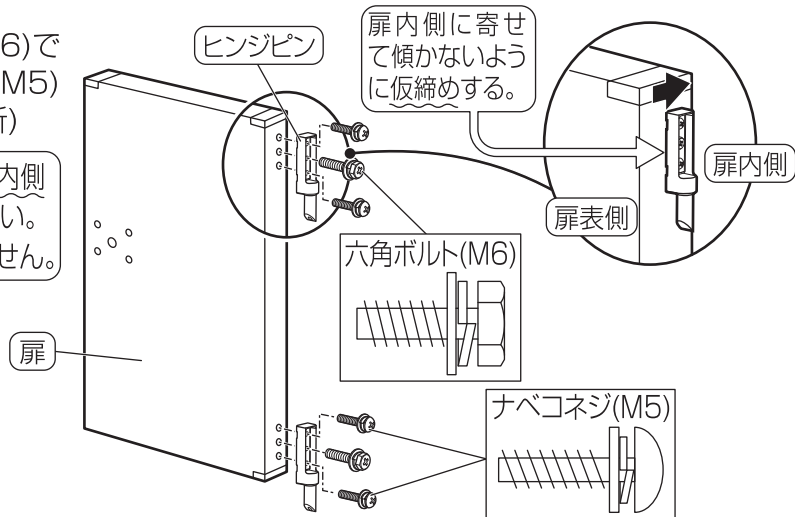
必要なネジ	ナベコネジ(M6)	4個	六角ボルト(M6)	2個
	ナベコネジ(M5)	4個	ナベコネジ(M4)	3個

⊕ドライバー(2番・3番)・電動ドライバー使用

- 1 扉にヒンジピン(2個)を六角ボルト(M6)で動かない程度に仮締めし、ナベコネジ(M5)を2~3山軽く締めておきます。(4カ所)

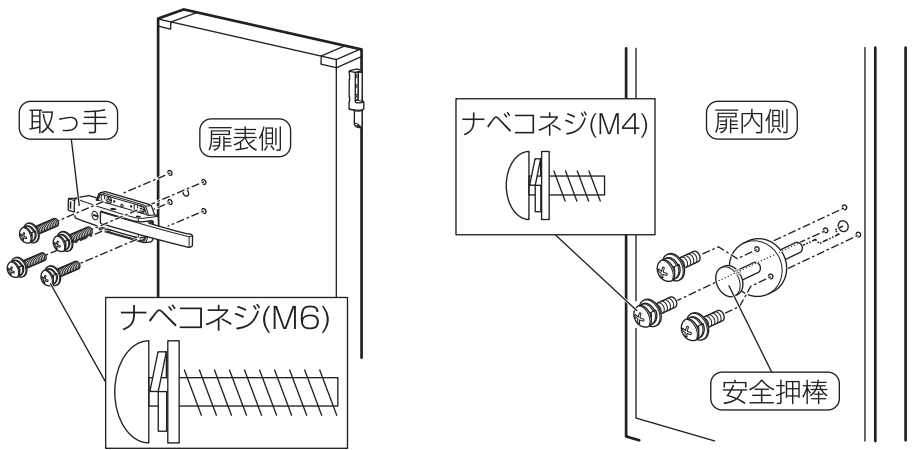
ヒンジピンは長穴になっていますので、扉内側に寄せて傾かないように仮締めしてください。傾いていると、扉が本体に取り付けできません。

扉左開き仕様は、ヒンジと取っ手の位置が逆になります。(右図)



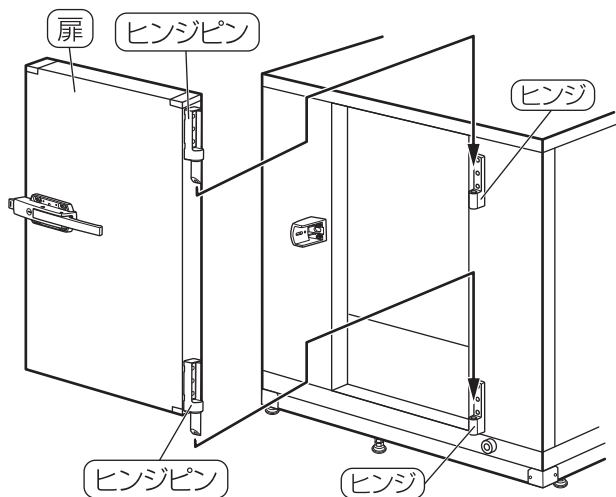
- 2 扉に取っ手をナベコネジ(M6)で仮締めします。(4カ所)

- 3 扉の内側に安全押棒をナベコネジ(M4)で固定します。(3カ所) 安全押棒がスムーズに作動することを確認します。



15 扉を本体に取り付け、調節をおこなう。

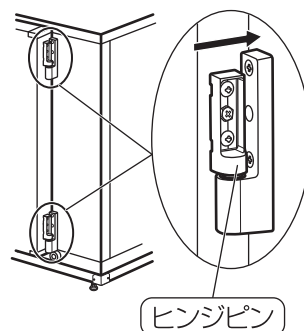
- ① 扉を本体に取り付けて、本体と扉パッキンのすき間調節をおこないます。



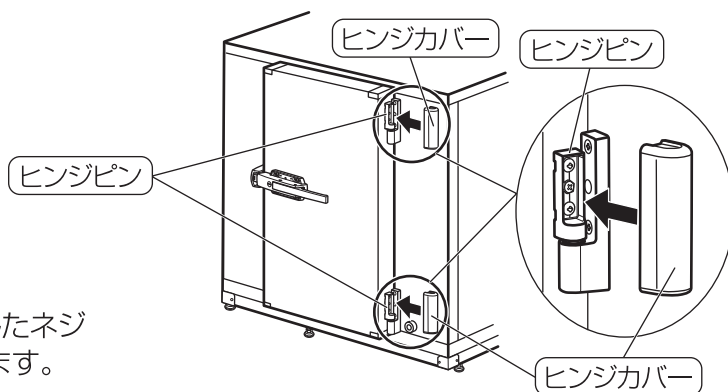
扉の調節

扉を本体側に動かして、調節します。
庫内に入って扉を閉め、扉パッキンが全周あたっていることを確認し、ヒンジピンのナベコネジ(M5)を本締めします。

※六角ボルト(M6)は仮締めのままだでも問題ありません。



- ② ヒンジピンにヒンジカバーを取り付けます。



- ③ 取っ手受けツメを 13-② で取りはずしたネジ(2個)で仮締めして、前後に動く状態にします。

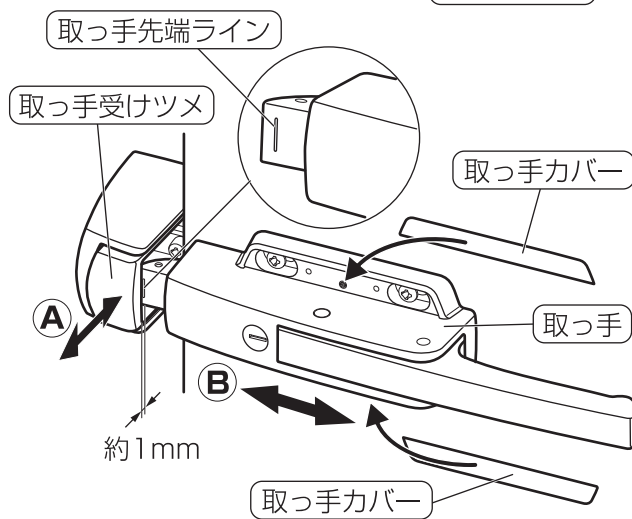
- ④ 取っ手受けツメと取っ手の調節をおこないます。

A 取っ手受けツメの調節

取っ手受けツメを前後に動かして調節します。
扉を閉めた状態で、取っ手受けツメと取っ手先端のすき間を1mm程度あけて取っ手受けツメのネジを本締めします。

B 取っ手の調節

取っ手を左右に動かして調節します。(ネジを軽くゆるめます)
扉を閉めた状態で、取っ手先端のラインと取っ手受けツメを一致させて取っ手のナベコネジ(M6)を本締めします。



調節後、扉が確実に閉まることを確認します。

- ⑤ 取っ手に取っ手カバーを取り付けます。

- ⑥ キーを回して確実にロックすることを確認します。

- ⑦ 扉を開き、開いた角度が約120°~150°までは扉の自重で閉まり、それ以上に開いたときはその状態を保持することを確認します。

お願い

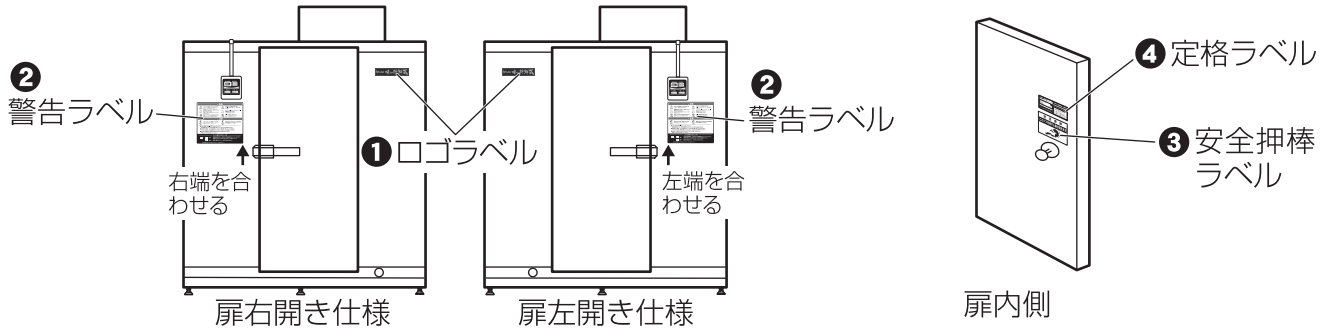
- キー(2個)は、最後にお客様に必ずお渡しください。

16 ラベル類を貼り付けます。

- 1 ロゴラベルを正面(ヒンジ)パネルに貼り付けます。
- 2 警告ラベルを操作パネルの下側に貼り付けます。
- 3 安全押棒ラベルを扉内側の安全押棒上側に貼り付けます。
- 4 定格ラベルを扉内側の安全押棒ラベル上側に貼り付けます。

注意

定格ラベルは同封の説明書の通り、組立・設置した機種をよく確認し、設置した機種のラベルを貼り付けてください。



定格ラベル

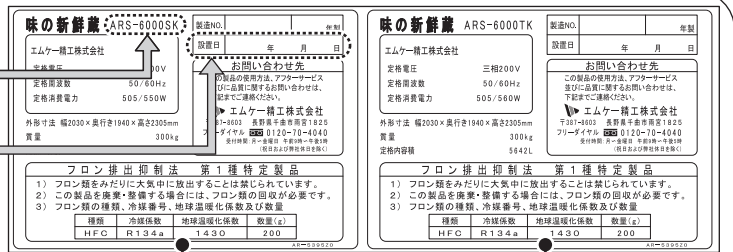
重要

設置した製品と定格ラベルの形式が一致していることを確認してください。

設置日を記入してください。

扉内側の安全押棒ラベル上側に、機種を確認して貼り付けます。

※右記の説明はARS-6000SKを示しています。



ARS-6000SKの定格ラベル

ARS-6000TKの定格ラベル

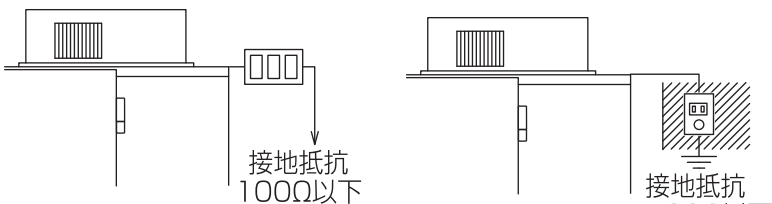
17 スノコをセットする。

- スノコを床パネルの上に置きます。(2組に分かれています。ツメを入れて連結してください。)

18 アース線を接続する。

ARS-6000SK(100V仕様)のみ

- 既存のアース端子などを利用する場合



配電盤などのアース専用端子を利用する

コンセントのアース専用端子を利用する

警告



アースはガス管や水道管などには絶対に接続しない。

禁止 感電のおそれがあります。

- 既存のアースがないときは、電気工事店へ依頼してD種接地工事をおこなってください。

組立・設置方法

試 運 転

【 定格電圧・周波数
ARS-6000SK 単相100V 50/60Hz
ARS-6000TK 三相200V 50/60Hz 】

1 電源を入れる。

- ① 専用回路の安全ブレーカーが「OFF」になっていることを確認します。
- ② コンセントに電源プラグを確実に差し込みます。
- ③ 安全ブレーカーを「ON」にします。
 - 庫内温度表示部が下記のように表示することを確認してください。
 - 庫内温度表示部に **E** が約1秒間表示されます。
※この表示は機種に適合しているかの確認用です。
 - 庫内温度表示部に **13** が約10秒間点滅表示します。
 - 庫内温度表示部に現在の庫内温度が表示されます。
 - 庫内ファンが回って冷却運転を開始します。
※庫内温度が13℃より低いときは冷却運転しません。

庫内温度表示部



(出荷時は **13**℃ に設定してあります。)

2 庫内温度表示部の表示確認をおこなう。

- 温度調節キーの **▲ 上がる** または **▼ 下がる** を押して庫内温度表示部に **8** ~ **18** まで表示することを確認します。

3 冷却運転の確認をおこなう。

操作方法

温度設定を8℃にして運転を開始します。

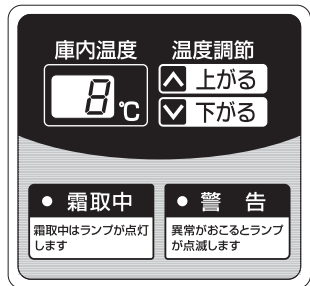
注 意

周囲温度が低く試運転できないときは、冷気戻り口にドライヤーなどで暖かい空気を送り込んで、必ず試運転をしてください。

動作および確認方法

庫内ファン・凝縮器ファン・コンプレッサーが運転していることを確認してください。

庫内ファン	凝縮器ファン	コンプレッサー
庫内ダクトの冷気吹き出し口から風が出ていることを確認します。	凝縮器フィンに手を近づけて風が吸い込まれていることを確認します。 ※キー操作終了後、約3分後に凝縮器ファンの運転がはじまります。	冷気吹き出し口から出ている風が冷気(冷たい風)であることを確認します。 ※キー操作終了後、約3分後にコンプレッサーの運転がはじまります。



4 初期設定に戻す。

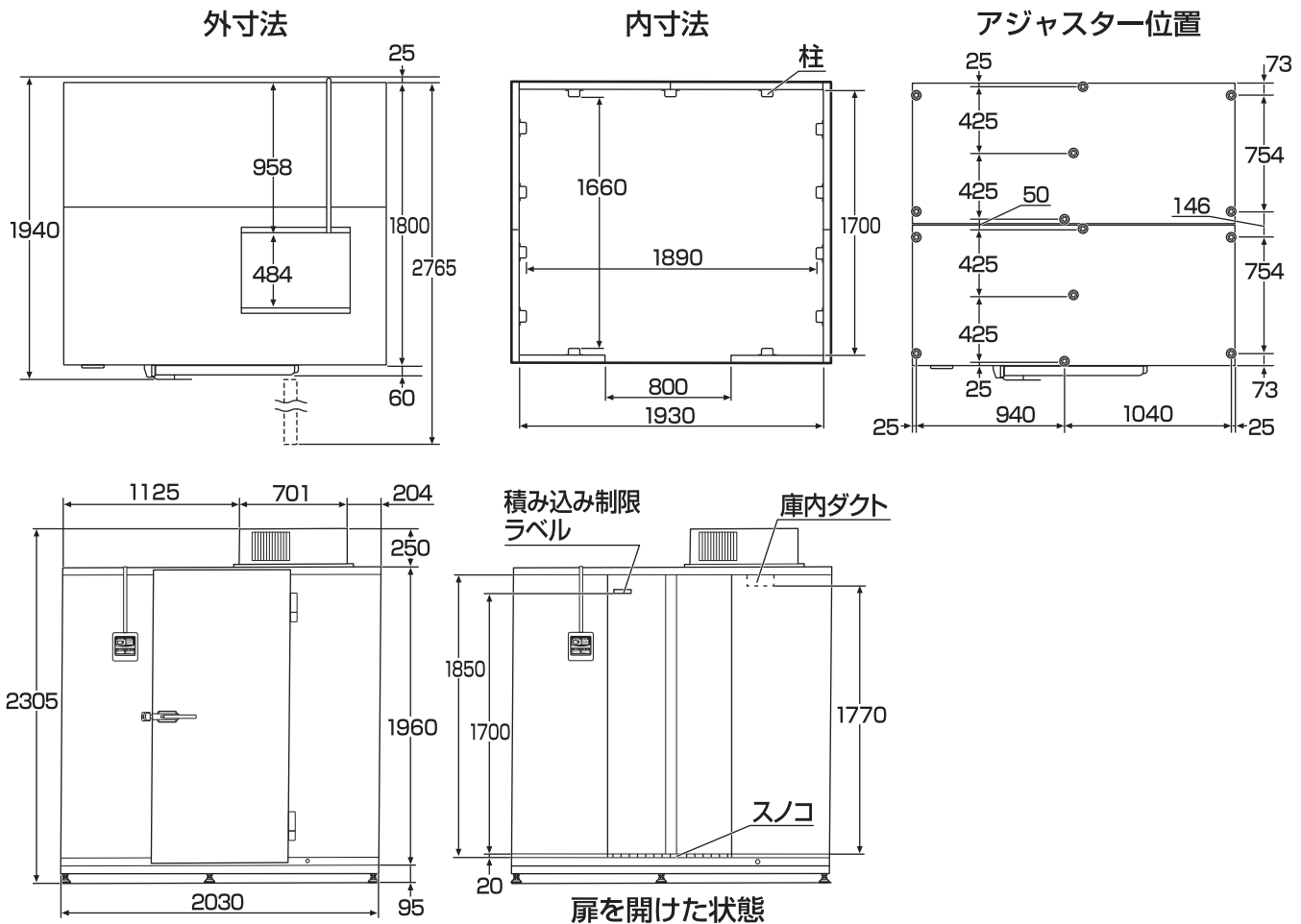
- 温度調節キーの **▲ 上がる** または **▼ 下がる** を押して **13**℃ に合わせます。
- 庫内温度表示部に **13** が5秒間点滅表示します。
- 庫内温度表示部に現在の庫内温度が表示されると、初期設定 **13**℃ に設定完了です。
- 安全ブレーカーを「OFF」にし、電源プラグを抜きます。

仕様

形 式	ARS-6000SK		ARS-6000TK
定 格 内 容 積	5642L		
玄米収納量(30kg紙袋)	108袋(3240kg)		
寸 法	外形寸法(幅×奥行×高さ)	2030×1940×2305mm	
	本体寸法(幅×奥行×高さ)	2030×1940×2055mm	
	本体内寸法(幅×奥行×高さ)	1930×1700×1850mm	
製 品 質 量	約300kg		
定 格 電 圧 ・ 周 波 数	単相100V 50/60Hz	三相200V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	50Hz	505W	505W
	60Hz	550W	560W
起 動 電 圧 許 容 範 囲	90~110V		180~220V
使 用 冷 媒	R134a		
電 源 コ ー ド	約5m		
推 奨 設 置 環 境	温湿度	周囲温度35℃以下、周囲相対湿度90%RH以下	
	設置場所	直射日光が当たらない屋内	
設 定 温 度 範 囲	8~18℃(1℃単位)		
庫内湿度(周囲温度25℃時)	約60~70%		
付 属 品	<ul style="list-style-type: none"> ●スノコ(プラスチック製) ●取扱説明書/組立・設置説明書 		<ul style="list-style-type: none"> ●キー(2個) ●保証書

主要寸法図

ARS-6000SK・6000TK (単位: mm)



アフターサービスと保証について

修理サービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、専用回路の安全ブレーカーを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品は、製造打切後最低9年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有料で修理いたします。

保証について

- この製品は保証書付きです。
- 保証書はお買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から5年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にて修理をご依頼ください。
- 貯蔵物の補償など製品修理以外の責はご容赦ください。

廃棄などについて

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。

お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にご相談ください。(処理費用は有償です)

※不法投棄した場合、5年以下の懲役または1000万円以下の罰金など、厳しく罰せられます。

こんな症状はありませんか

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- 製品にさわるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

こんなときは

このような症状のときは安全ブレーカーを「OFF」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または下記のお客様相談窓口にて点検をご相談ください。

お客様相談窓口

この製品の使用方法・アフターサービス並びに品質に関するお問い合わせは、

エムケー精工 お客様相談窓口

〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825

フリーダイヤル ☎0120-70-4040

■通常電話番号 026(272)4111(代表)

■FAX 026(274)7089

受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
(祝日および弊社休業日を除く)

設置業者の方へのお願い

組立・設置記録

- 庫内側に貼付の 定格ラベルに組立・設置日を必ず記入 してください。
- 下記の欄に必要な事項を記入し、お客様にお渡しください。

組立・設置日	設置業者
年 月 日	住所・氏名 TEL

Let's enjoy the future!

 エムケー精工株式会社

〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825
TEL 026(272)4111(代)
FAX 026(274)7089(代)

[支店]

札幌支店	〒004-0841 札幌市清田区清田一条1-9-21	TEL 011(881)7311
仙台支店	〒983-0023 仙台市宮城野区福田町4-14-22	TEL 022(258)3861
東京支店	〒125-0062 東京都葛飾区青戸8-3-5MK東京ビル3F	TEL 03(3604)6441
静岡支店	〒422-8035 静岡市駿河区宮竹1-13-5	TEL 054(238)0111
新潟支店	〒950-0923 新潟市中央区姥ヶ山2-18-15	TEL 025(287)0911
長野支店	〒387-0007 長野県千曲市大字屋代4299-1	TEL 026(272)8701
名古屋支店	〒453-0855 名古屋市中村区烏森町6-109	TEL 052(461)7261
金沢支店	〒920-0025 金沢市駅西本町2-8-8	TEL 076(264)1115
大阪支店	〒564-0043 大阪府吹田市南吹田3-6-4	TEL 06(6386)5800
広島支店	〒731-0138 広島市安佐南区祇園3-36-28	TEL 082(871)7355
福岡支店	〒812-0061 福岡市東区筥松1-2-31	TEL 092(612)1077

[営業所]

高松営業所 〒761-8062 高松市室新町3-5 B棟102 TEL 087(868)6781